

国立国語研究所学術情報リポジトリ

石川県羽咋郡志雄町荻市方言

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2020-10-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 国立国語研究所 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00003029

方言録音資料シリーズ—9

石川県羽咋郡志雄町荻市方言

国 立 国 語 研 究 所 編

1 9 6 8

このテキストは、総合研究「地方における話しことば教育法改善のための基礎的研究」(代表者 大石初太郎) の一部として、研究用の資料として作られたものである。

方言の録音方法、方言の表記の方法などのあらましについては、別に作った「方言の録音とテキストの作成について」(国立国語研究所 話しことば研究室編) を参照されたい。

ここに収めた方言の録音とテキストの作成とは、金沢大学教授 岩井隆盛 が担当した。

もくじ

収録地点とその方言について	2
表記について	3
本文	
荻市の昔と今	
(1) 修学旅行	5
(2) いまの若いもの	8
(3) レンゲ山の角力	10
(4) 小さい時の小づかい銭	19
(5) お祭りのこと	22
(6) お寺の法事	27
(7) オラッチャ・ヤーヤなど	32
(8) 通学の服装など	39
(9) むかしの進学	42
(10) あいさつ	46
(11) 之路	59
(12) イッタッタ・ギタッタなど	64

収録地点とその方言について

1. 収録地点名：石川県羽咋郡志雄町字荻市

2. 収録地点の概観

荻市は農村であるが、志雄町の中心である子浦に接し、かつて（安永年間）子浦をも支配する十村がこの荻市にいたことのある部落である。それはともかく、金沢～七尾、羽咋～氷見の交通の要地である。とくに羽咋（能登）～氷見（越中）の路線は家持の時代すでに開けていたようである。

3. 収録した方言の特色

荻市の言語は、北陸西部とくに能登・越中の方言である。

音声では、ソとス、チとツ、ジとズ、イとエ、サ行とハ行、ワとバの混同のほか、シエ、クツなどもある。文法は近畿に通ずるものが多い。しかし北陸ふうな準体助詞のガ（の）や、越中と似た敬語のイッタッタ（行かれた）なども目につく。

語彙では、能登ふうなベッチャ（ちがう、いいえ）、クダイ（下さい）、ハゾ（稻架）がこのあたりからはじまる。ヤモド（たくさん）は加賀の北部でも使うが、ケンケ（くれませんか）はここ特徴かと思われる。なお古風なバッカイ（面倒・世話）などがある。

4. 地点選定の理由

ここは能登の南部にある。東は越中（富山県）に直接つづいている。南は押水町一つをへだてて加賀（石川県）である。地域的には、加賀・能登・越中の接点であり、能登ふうな方言はここからはじまるともいえる。

表記について

(指定の字母以外に使用した字母、および使用した補助記号)

字母・補助記号の種類	語例と意味	(標準語訳)	音価についての注記
θ	horeə	(それは)	θ
ヰ	sিranzo	(知らないぞ)	ヰは中舌

1. horeəの後部は rεθ に近いかと思う。それはともかく reə, koθ などは 1 音節である。
2. sিran の s いふうなものを su のように表わしたところがあるかも知れない。

以上のはかはすべて指定の表記かと思う。

荻市の昔と今

録音日時 1967年8月21日

録音場所 石川県羽咋郡志雄町

字荻市坂本貞夫氏宅

話し手 (略号) (氏名) (性別) (生年) (職業) (居住歴)

D 土一登美 女 明治35年生 飴の製造販売 石川県羽咋郡志雄町字荻市だけ

S 坂本貞夫 男 昭和18年生 小学教師 同上 ただし昭和42年4月から羽咋郡富来町にも住む

I 岩井隆盛 男 明治42年生 大学勤務 0~12才羽咋郡押水町 その後、金沢・東京・金沢・石川県河北郡津幡町

- 解説: 1. 修学旅行 7. オラッチャ・ヤーヤなど
2. いまの若いもの 8. 通学の服装など
3. レンゲ山の角力 9. むかしの進学
4. 小さい時の小づかい錢 10. あいさつ
5. お祭りのこと 11. 之乎路
6. お寺の法事 12. イッタッタ・キダッタなど

(1) 修学旅行

S anoon oba:cjan' wakai tokini: (1) omoqsjō-
あの おばあちゃん、若い ときに おもしろ

kaqta koto nanka naika tegaja wakai tokini: (2)
かった ことが なにか ないか というのだ、わかい ときに

D omosirokaqta kotone'n (3)
おもしろかった ことね

S on musume zidaidemo joisi (4)
うん、むすめ 時代でも よいし,

D hojane: maN iciba:N kono kiokuni nokoqtoru (5)
そうだね、まあ、いちばん この 記憶に 残ってる

koto wa N mukasi zi NZ jo: a nde ma N roku ne N
ことは むかし 尋常(小学の) あれで まあ 六年

desi takane N warazi hait e N hakama hait e
でしたかね、 わらじ はいて はかま はいて,

hosite hemini made aruite hosite zuq to
そして 氷見に まで あるいは, そして ずっと

husikini iqte iq paku site hosite kae qte
伏木に 行って 一泊 して, そして 帰って

kit a ga a iciba N hore e a ki okuni noko q toru bai
来たのが いちばん それが 記憶に 残ってるのだ。 (6)

S rj oko : ke
⁽⁷⁾ 旅行ですか。

D rj oko
旅行。

S hu: N hore e : ci nc jai tok ijar one
⁽⁸⁾ ふうん、 それは 小さい ⁽⁹⁾ ときだろうね。

D zi NZ jo go ne ka roku ne n ja qta roku ne N ko : to
尋常 5年か 6年だった, 6年 高等(小学)

i c i ne N nimo na qto qta kane:
1年にも なってたかね。

S hu: N ho N to qkja hikawa jane ga qkoe
ふうん、 その ときは 横川だね, 学校は。

D hikawa ja ho sitara hono su qata o o N sja su N
横川だ。 そしたら その すがたを 写真。

ni u cu ite ima miru cju: to donna joka qta mo
に うつして いま 見る というと どんな よかったも

s tre N tete omo qja red o sono zib u N na a N
知れない と 思うのだが その ころは

s ja si N mo na s i ne
写真も ないしね。

S hu: N ho sitara a N ima mukasi omos iroka qta
ふうん、 そしたら いま むかし おもしろかった(ことは)

hono hon dake dake ke mada na nka hono kawa qta
その それだけ だけですか。ほかに なにか その 変った

kotoe naka q take
ことが なかったですか。

D ho jane kawa qta ju: ta tete imam itai kon naan
そうだね 変った(と) いった といつても いまのよう こんな

.... aq ci koq cito rjoko: ni aruita cju: koto-
あちら こちらと 旅行に 歩いた という こと

mo na si taisi tanen mukasi zin zjo ninen gura-
も ないし、 たいした(ことは)ね。 むかし 尋常 2年くら

i no tokika kanazawa made sju: yaku rjoko: ja
いの ときか 金沢まで 修学 旅行だ

tete iq te kita koto mo oboe toru si zis ecu-
といって 行って 来た ことも おぼえてるし、 時節

ya ci yote a nta kono undokai tokane man
が ちがって あんた この 運動会 とかね、 まあ

roq ko: joq teno undo: kaika he: kura roq ko
6校 寄っての 運動会か, それから 6校

joq te kono ano nan jac ja frens ju: kaika
寄って この あの 何だよ, 練習会(=学芸会)か

man so nna koto o ga qko: no gjo: zi to si te
まあ そんな ことが 学校の 行事 として

a qta mon ja sakai i: hon na ima wakai si to
あった ものだ から, そんな いま(の)若い 人の(ように)

joq te kon na koto si ta tokane N son na koto e
集まって こんな こと(を) したとかね, そんな ことは

a nta z jen z jen nai mon no un hon na muka
あんた 全然 ない もの, うん そんな むか(し)

kon de man mukas ito se nnara njaroo jo nz ju:-
これで まあ むかしと しなくてはならないだろう, 40

ne N kare kore goz ju: ne n kara c joq to tacu
年 あれこれ 50年から すこし(多く) 経つ

moN ja sakai uN
ものだ から、 うん。

(2) いまの若いもの

S h o s i t a r a a N i m a n o w a k a i moN na oru j a r o ga N c j a-
そしたら いまの 若い ものが いるだろう アンチャ

(1) N n a oru j a r o g a i n e a r e e n a n k a d o : k a o m i o w a n k e
ンが いるでしょう。 あれは なにか どう(ど)か 思いませんか、

n a n k a o m o : k o t o e n a N k a n a i k e
なにか 思う ことが なにか ないですか。

D i m a n o w a k a i moN
いまの 若い もの(についてか)

S i m a n o w a k a i s i t o o N
いまの 若い ひとのこと、 うん。

D a : s i a w a s e n a z i s e c u n i i N k o n d e meD u m a r e t o r u-
ああ しあわせな 時節に(なり) これで めぐまれてる

w a t o o m o t e o m o : w a i n e uN h i o j a r o
わと (思って) 思いますね。 うん そうだろう。

S u N m u k a s i t o k u r a b e t e d o n n a t o k o e j o i D a n i
うん、 むかしと くらべて どんな どこが よいのに

n a q t o r u n e w a k a i moN n a
なってるね 若い ものは。

D maN r i k o : j a n e N k e q k i j o k u h i o j a r o z i b u N-
まあ かしこいね。 つまり、 そうだろう、 自分

..... de z i b u N n o l i s i o n t o : s u c j u : k o t o g a r i k o : n i
で 自分の 意志を 通す という ことが かしこく

..... n a q t a g a d e n a i k a s i r a N m u k a q s j a a n t a
なったので ないか しら。 むかしは あんた

o j a n o j u : n a r i j o r o o j a g a k o : j a t e t e i e b
親の いうままだろう。 親が こうだ と いたば

kimono: i cima ide mo ojano ju: mama hojaro
着物 1枚でも 親の いう通り、 そうだろう。

nani sitocu honna ojano hantai suru monno
なに ひとつ そんな 親の 反対 する ものを

ko: temo moroware N si morota kotomo naka qta
買っても 貰われないし、 (買って) 貰った ことも なかった。

hosite hosii kimocinimono naran andajaro
そして 欲しい 気持にも ならなかつただろう。

iman o kodomo e minna konde man kaqtena muka-
いまの 子供は みんな これで まあ 気まま(もので), むか

sino monkara naqame qto jazo kaqtena kima-
しの ものから ながめるとだぞ。 勝手な 気ま

mana konde do iee joika atama ya a joku naqte
まな, これで どう いえば よいか, 頭が よく なって

riko: na kodomon i naqtoru yaka soko ya man
かしこい 子供に なってるのか, そこが まあ

kon de cjo qto handa n cu kannen hojaro
これで ちょっと 判断(が) つかないね。 そうだろう。

kimama na yaka riko: na yaka hojaro keqkjoku
気ままなのか かしこいのか そうだろう, つまり。

S uN o ba:c ja n motomoto o b i c i n i o q t a D a i ne
うん, おばあちゃん 元から 荻市に いたのですね。

D a N o g i c u n i umareta D a i
ああ 荻市に 生まれたのだ。

S hu:N motomoto aqkona uc ike
ふうん, 元から あそこの 家ですか。

D u N aqkona uc i ja
うん, あそこの 家だ。

S hu:N otoqca N otoqca N mo o i deru
⁽¹²⁾ ふうん, お父さん お父さんも おいでる。

D otoqca N jo:sini kitaqta yaja
お父さん(は) 美子に 来られたのだ。

S hu:N hositar a jaqpar i o qicin e hitojar o
ふうん、 そしたら やはり 荻市の 人だろう。

D u:N hejahoja o qicuno hitojaredo horem o to:-
うん、 そうだそうだ。 荻市の 人だが、 それも ずっと
si o qicini oran z jaqtajaro wakai to qkja
と 荻市に おられなかつただろ。 ⁽¹⁴⁾ 若い ときは

t abie de te qtaq taken i
旅へ 出ておられたから。

S hu:N hositar a aN cjoqko ju:q kur i sjabeqte
ふうん、 そしたら(=ところで) すこし ゆっくり(と) 話して
hos i ne
欲しいね。

D a:N ho:k a
ああ そうか。

S o N hanasino tocju: jakedoon hurahura: q to
うん、 話の 間で 途中だが フラフラと
sjabeq+ara nanka
話すと なにか……

D a N ho:k a hu N
ああ そうか。 ふん。

(3) レンゲ山の角力

S hositar a aN rengejamano sumo: cju: monna
そしたら、 レンゲ(蓮華)山の すもう(角力) という ものは
jaqpa zu: qto mukasikara aqtaqake
やはり ずっと むかしから あったのですか

D zu: qto mukasikara aqtaqai
ずっと むかしから あったのだ。

S ci n c jai tok i don na mon jaq taine
小さい(子供の) とき どんな ものでしたか。

Doraqjano kodomon o zibunkara aqtaya i mada-
オラッチャ(彼ら)の 子供の ころから あったのだ。まだ
mada se:daijaqtawane sumo:wane horega
まだ(もっと) 盛大でした。 角力はね。 それが
⁽¹⁵⁾
man gjo:zi hono siomacino gjo:zi man mukaq-
まあ 行事、 その 志雄町の 行事、 まあ むか
sja siomurajaqtane hono gjo:zino sitocu-
しは 志雄村だったね、 その 行事の 一つ
to site kosite nanzjuneN cuzuitoru monjara
と して こうして 何十年 つづいてる ものやら,
..... hijakunenmo cuzuitoqka horeo siraNzo
100年も つづいてるか それは 知らないぞ。
oraqjano kodomon o zibunkara ano sumo:a
オラッチャの 子供の ころから あの 角力が
aruqaja
あるのだ。

S mini iqta moNke jaqpa
見に 行った ものですか、 やはり。
D mini iqta waine anta sju:no sumo: cju:tara
⁽¹⁶⁾
見に 行ったですね、 あんた。 子浦の 角力 といった
ra anta zu:qto jaman o ho:kara mukasijazo
ら、 あんた、 ずっと 山(村)の ほうから、 むかし(は)だぞ,
ben to moqte minna anta sju:no sumo cju:tara
べんとう 持って みんな あんた、 子浦の 角力 といったら
se: monosuqoi se:daina monjaqtare
⁽¹⁷⁾ ⁽¹⁸⁾
盛(大な), ものすごい 盛大な ものだったのです。
jamaakara bento moqte minna kitasineN
山村から べんとう 持って みんな 来たしね。
hosite minna anta hontoni sju:no smo:o ma-
そして みんな あんた, ほんとうに 子浦の 角力を 待
cikane toqta waine nanka jono gjo:ziga nai
ち兼ね ていたですね。 なにか(=なにもほかの 行事が ない

monja sakai hakuino sumo: ja sju:nō sumo: ya
ものだ から、 羽咋の 角力や 子浦の 角力が

kondene: monosu ūoi minna kodomodemo wakai
これでね、 ものすごい(=ものすごく)みんな こどもでも 若い

mon demo jorokonda monja
のものでも よろこんだ ものだ。

S hu:N jo: aN tokiniin cjawawuritoka honna
ふうん、 よく あの ときに 茶椀売りとか そんな

mon kitoqtarone
もの(が)来ていたらうね。

D kitoqtage mukasikara cjawawuri cjawawurito
来ていたのです。 むかしから 茶椀売り 茶椀売りと
karakasaurija hosite zufqto anta aqkoe
からかさ売りだ。 そして、 ずっと あんた あそこは

cjawawuridemo takusan kitene karakasa ja-
茶椀売りでも たくさん 来てね。 からかさ屋
ja cju:ee takusan aru monno ima karakasa-
だ といえば たくさん ある から(=来ているから), いま からかさ
uridomo: mitai cju:temo naijaro minna
売りなどは 見たい といつても ないだろう。 みんな

ko:mori ūasaja sakai uN
こうもりがさだ から、 うん。

S hu:N hositara minna ko:tawane monjarone
ふうん、 そうしたら みんな 買われた ものだろうね,

cjawano
茶碗を。

D minna ko:tawane anta karakasaurai aNta
みんな 買ったですね あんた, からかさなど あんた,
icinen sasubo ko:gaicja hojaro hositara
1年(間) さす(使う)のを 買うのだよ, そうだろう。 そうしたら
hitorini iqkaizuku minna konna konna gaqko-
ひとりに 一本ずつ, みんな こんな こんな(小さい) 学校

no kodomo e mo: suni ojobazu man hontoni hi-
の こどもは 申すに およばず、 まあ ほんとうに ひ

(19) tokazukizucu minna zju:nin ore e hontoni
とかずきずつ、 みんな 10人 おれば、 ほんとうに

(20) zi qpon ko:ta monzja ucira uN ima kono
10本 買った ものだ、 うちなど(では)。うん、 いま この

kō:morigasani naqtekara kasaurimo konsi
こうもりがさに なってから、 からかさ売りも 来ないし、

zenzen honna ko: hicujo:mo iran nandoki-
全然 そんな 買う 必要も 要らない 何時

demo kawareru saka i hairone
でも 買われる から そうだろうね。

S uN motomoto e doko jarani ano sitani aqtadane
うん、 元元は どこやらに あの 下に あったのですね。

D dokoni
どこに。

S jonejamano yokono ucine ano jolono ano
米山の 横の 家ですね、 あの 横の あの

hi ro bani
広場に。

D mukasikara asoko ja
むかしから あそこだ。

S hu:N ima anmari hositarase: daide naijaro
ふうん、 いま あまり そうしたら 盛大で ないだろう、
ano aremo
あの あれも。

D ima se:daide nai hosite cjoqto ko: zumoga
いま 盛大で ない。 そして ちょっと 高校角力が
icinenmo nineNmo haiqtajaro icinenka
1年も 2年も 加わっただろう。 1年(だった)か,

arekaraneN taisifa koto o naijaro sorekara
あれからね、 たいした ことは ないだろう。 それから

kono rjoko: rjoko: tete takusan detekita
この 旅行 旅行 といつて たくさん はやって来た

sakai ja

からだ。

(21) S uN wasiramoon ci:sai toqkja sumo:e omoqsjou
うん、 ワシラも 小さい ときは 角力は おもしろ

kaqta waine minna miseo: takusan kitoqtasi
かった、 ですよ。 みんな 店が たくさん 来ていたし,

hairo cjawaNuritoka anna mon ko:takedo
そうだろう(=ね) 茶碗売りとか あんな もの 買ったが (いや)

mitoqtakedo hojaro

見ていたが、 そうだろう(=ねえ)。

(22) D ima taisita monna oranjaroo na:N sju: no
いま これはという ものは (来て)いないだろう。 なにも 子浦の

sumo:ja tete na:N iku himo aqsi ikan toki
角力だ といって(も)なにも 行く 日も あるし, 行かない とき,

ikan tosimo aruwa ucinimo
(いや)行かない 年も あるわ, (私の)家でも。

S uN nanka cujoi somotoridemo oqta monkane
うん, なにか 強い 角力取りでも いた ものですか,

siono sumotoqra
子浦の 角力取り(に)は。

D honde zimotonii oqta sakaide naika hono
それで 地元に いた からで ないか, その

honzo:sanjano he:kara ano ima hakuini
ホンジョウさんだの, それから あの いま 羽昨に

kitajama cju: hito sumo:torijaro hojaro
キタヤマ(北山) といつて 人(が) 角力取りだろう。 そうだろう

(24) he:kara hjo:yonii otoma cju: hitojano honna
それから 兵庫に オトマ(音ま) といつて 人だの, そんな

hitotaga oqta waine hono zimotonii taniarasi-
人たちが いた ですね, その 地元に タニアラシ(谷

n o
嵐)の………

S k i N z o m a k a
キンゾウマ(金藏ま)か。

D k i N z o m a a q k o j a r o h o n d e k o N d e e : s u m o 9 a
キンゾウマ, あそこだろう。それで これで 角力が
se : d a i n i n a q t o q t a g a d e n a i k a s i b a r a k u n e :
盛大に なっていたので ないか, しばらく(の間は)ね。

m u k a q s j a a q c i n i m o s u m o : k o q c i n i m o s u m o :
むかしは あちらにも 角力, こちらにも 角力,

i m a a n t a s o n n a s i r o : t o n o s u m o : m i r u j o r i
いま あんた そんな 素人の 角力 見るより(も),

a N n a a n t a n e : r i q p a n a s u m o : m i r u m o N j a s a k a -
あんな あんたね 立派な 角力を 見る ものだ から,

i e : n a : N s i r o : t o n o s u m o : d o m o m o n d a i d e n a i -
すこしも 素人の 角力など 問題で ない

d a d e n a i k a s i r a n u n
ので ないか じら, うん。

S h o s i t a r a j a q p a s j a z i k i d e m o j a q p a k u N d e e :
そうしたら やはり (角力)のさじきでも やはり 組んで,

a n n a g a j o : k u N d a q r a r o g a i n e
あんなの(が)よく 組んであるでしょう。

D s a n z + k i k u N d e a r u w a i n e n e : a n t a s j o : d a i k e N
さじき(は) 組んで ありますよ。ねえ あんた, 招待券(を)

k i b a q t e k i h u s i t e t a k u s a N m o r o t a u c i w a
くばって(貰って), 寄附して たくさん (寄附を)貰った 家は

c j a n t o a q k o e s a N z i k i a q t e h o j a r o h o s i t e
ちゃんと あそこへ, さじき(に) 上げて, そうだろう。 そして

m i N n a t a i d u s i t a m o N j a c j a
みんな 待遇 した ものだよ。

S h u : N h o s i t a r a s u m o : n i k a q t a r a s i o n o o N m j a s a -
ふうん, そうしたら 角力に 勝ったら 子浦の お宮さ

N e i k u g a i n e N
んへ 行くのだね。

D ho : ja ho : ja o m a c u r i s i t e
そうだ そうだ おまつり して。

S go he : ka n a n k a m o q t e
ごへいか なにか 持って。

D go he : k a z u i t e ho : su q c j u : t o h o n o s o n o
ごへい かついで そうするというと その その
k a q t a t o k o e m a n k o n d o h a n a z u m o : t e t e h a n a-
勝った ところは まあ これで ハナ角力 といって、ハナ
z u m o : s i t a r i a n d e j o : j o w a q t a o a i m i n n a
角力(を) したり、 あれで よく 困ったのだ、 みんな

h a n a z u m o : s u r u t o q k j a m a t a k i h u j a r o : o t e n u-
ハナ角力 する ときは また 寄附だろう。 手ぬ

g u i d e m o h u r u s i k i d e m o m i n n a k o n d e k i b a g t e
ぐいなり ふろしきなり みんな これで くばって

k u q s a k a i h o n o b u r a k u n o n a n t o j u : t e m o c u z u i-
来るから、 その 部落の(一部落は) 何と いっても つづい

t o q s i i : h o : s u r u c j u : t o k o q c i n i c j a n t o s i t e
ているし、 そう するというと こちらに(→こちらで)きちんと して

m i n n a a N a g e n n a r a N a i n e h o N n a m o N m o r o : -
(世話を)見なくてはならない、(何かを)あげなくてはならないでしょう。そんな もの(を) 貰っ

t a o k a e s i n i
た おかえしに。

S h o n d e a n o a n o a n o o d a n d a r a s a k a n o a q k o n i
それで あの あの あの ダンダラ坂の あそこに

a q t a g a n a n j a i n e
あったの(は) 何ですか。

D a s o k o h a n a z u m o h o N z j o s a N d o q k a n o s e k i t o q-
あそこ(は) ハナ角力、 ホンジョウさん(が) どこかの (角力の) 関を取っ
t e e h o s i t e h a n a z u m o s i t a o a i r o (S h o : N)
て、 そして ハナ角力(を) したのだろう。

ke q k j o k u o N
つまり、
うん。

S hu: N h o s i t a r a t a n i a r a s i n o t a n i a r a s i t e j u: t a
ふうん、 そうしたら タニアラシの タニアラシと いって

sumo: n a n k a h e j a m i t a i n a m o n o a q t a v a n e
角力(取り)は なにか 部屋(?) のような もの(が) あったのですか。

k o b u n d o m o e o q t a v a k e
子分どもは いたのですか。

D sa: k o b u n d o m o e t a i s i t a o f a n g a d e n a i k a s i r a N
さあ 子分どもは 大した(ものが) いないので ないか しら。

S h o N d e m o k i N z o m a k i N z o m a.....
それでも キンゾマ キンゾマ

D ju: t a g a d e k a i k o N n a h i t o j a c u r a n u k i n o
(と)いったの(は) 大きい こんな 人だ。 ツラヌキの

o t o q c a n m o s u m o : t o r i j a q t a z o d e q k a i h o n o
オトツアンも 角力取りだったぞ。 大きい その

h i t o k o s o s u m o : t o r i j a q t a w a j o N o h o N z j o s a N
人こそ 角力取り(にふさわしい人)だったわ。 ほかの ホンジョウさん

r a q c j a a s i m o t o e m o i k a N
たちは 足元へも およばない。

S hu: N j a q p a k o b u n k a n a N k a o q t e j a n e
ふうん、 やはり 子分か なにか おられるのですか。

D a N d e o q t a v a j a r o g a i k o k o n o m i N n a h o N n e h j o: (26)
あれで(まあ) いたのだろうよ。 この みんな それね 兵

y o n o o t o m a j a n o a n o h o N z j o s a N j a n o m i N n a
庫の オトマだの, あの ホンジョウさんだの, みな

a N d e t a n i a r a s i n o k o b u n n i n a q t o q t a v a k a
あれで タニアラシの 子分に なっていたのか。

h o n o c u r a n u k i n o k o b u N j u: t a r a t a n i a r a s i v a
その ツラヌキの 子分 (と)いったら タニアラシが

n a q t o q t a v a k a
なっていたのか。

- S hu:N honnara taniarasino kobunni mata oq-
ふうん、 それなら タニアラシの 子分に(→子分が)また いる
c ju wake ja hojaro
という わけだ、 そうだろう。
- D ho:suree aano honzjosanra naqtoqtaqajaro dai
そうすれば あの ホンジョウさんら(が) なっていたのだろうよ。
- uN
うん。
- S "honnara" aqkon i sekihimi taiga taqtotorujaro
それなら あそこに 石碑のようなものが 建っているだろう,
ano
あの.....
- D are: taniarasijaro
あれは タニアラシだろう。
- S taniarasika are
タニアラシか, あれ。
- D curanukinogamo taqtotorujaro
ツラヌキのもの 建っているだろう。
- S hon toke curanukino namae nanja ine are
ほんとうですか, ツラヌキの 名前(は) 何ですか, あれは。
- D curanuki tete imma naqtoruu
ツラヌキ と いま なっている。
- S sumo: torino namae da
角力取りの 名前が(ですね)。
- D uN curanuki
うん, ツラヌキ。
- S bukue anna do: site anna tokoni isino man
ボクは あんな どうして あんな ところに 石の まあ
sekahi taqtotoru sumo: tori.....
石碑(が) 建っている, 角力取り.....
- D reN e jamano tokode (S uN uN) han aqkon i
蓮華山の ところで, はあ あそこに。

S shu:N aree nanka do:ja si nda monde taqtoruDa-
ふうん あれは なにか。 どうだ、 死んだ ものだから 建っている

(27) kai sekihike ande kineNke
のか (あれは) 石碑ですか、 あれで 記念ですか。

D a no karato jamae ikuto miNna sumo:torino
あの 唐戸山へ 行くと、 みな 角力取りの
sekihiga taqtoruGaine are siNdekaRa
石碑が 建っているのだね。 あれ 死んでから
tateta monka ikit oqteno aidani tateta monka
建てた ものか、 いきておられる 間に 建てた ものか,
soree wakaran hairo
それは わからない。 そうだろう。

(4) 小さい時の小づかい銭

S oba:cjanra hon toki cincjai tok: ikurahodo
おばあちゃんら、 その とき、 小さい とき どれほど (小づかいを)
morote iqtoqtaine tada mitoqtatake
貰って 行っていましたか ただ 見ていたのですか。

D sumo minika
角力 見にか。

S uN goziqsenka nanka kanedemo moroteqta mon-
うん、 50銭か なにか 金でも 貰って行った もの
ke. ですか。

D a nta: goziqsendomo morawanjarooaine hoja-
あんた 50銭なんか 貰わないでしょう, そうだ
ro: (S uN)
ろう。

I goziqsen daimai ja monne
50銭(は) たいへんだ ものね。

D daimai ja, uc inoo; to: cjanraa: zinzjo: たいへんだ。家の父ちゃんらは尋常じやうじやう
joneNka sanneNno tok i wakurae iqtagai sju: -
4年か 3年のとき和倉(温泉)へ行ったのだ。修
yakurjoko:ni okaneo zju: goseNjaqta toine
学旅行に。お金を15銭だったというね。
..... ora@aine (S o N o N) hositarane: gosjeN
⁽²⁸⁾ オラがだね。そうしたらね 5銭
gosjeN ano ojuo ko:te kitasi zjuqseN
5銭あのお湯を買って来たし、10銭
mameame ko:tara cukoi okane@ nakaqta toine
豆飴を買ったら、使うお金がなかったというね。
..... jo: honna koto ju:te o:warai surugai
よくそんなこといって大笑いするのだ。

S honna koto surja macurina mada nanan
そんなことすれば、まつりはまだいやいや,
horekosa: zjuqseNnara zjuqseNguraijane
それこそは10銭なら10銭ほどだね。
ju:te mirja sukunakaqta
いって見ればすぐなかつた。

D ora qc jano toqkja ja: zi qseN domo morawaNade
わたしらのときはいや10銭なんか貰わないで
nai ke gosjeN mo morota aka man sekino jama
ないですか5銭も貰ったかまあせいぜい
zi qseN mo morota monkane ano wasuremo seNya
10銭も貰ったものかねあの忘れもしないが
(S u N) ko:to icineNka nineNno tok i tojama-
高等(小学の)1年か2年のとき富山
nii: hakuraNkai ja aqtawai (S u N) nanaziq-
に博覧会があったわい 70
senja ciyai kwaihi a man kisjacinkara
錢だというのだ、会費(が)あまあ汽車賃から

nankara nanno hositarai ku monna oranano
なにから、 何の(ことはない) そうしたら 行くものが いなかった

dazone (S ho:N) ora q c j amon ikaN ora q c j amo
ですね。 わたしらも 行かない、 わたしらも

ikaN c ju:tagai nanazi q sende
行かない といったのだ 70銭(のこと)で。

S imani suree deqkai kaneja cju wakejane cjo-
いまに すれば 大きい 金だ という わけだね ちょ
qto tee: denanda cju wakejarone honna dekai
っと 手が 出なかった という わけだろうね、 そんな 大きい
kane
金(では)。

D hono kodomoni omokio oitoranade nakaqtaka
その、 子供に 重点を おいていないので なかっか

siran mukaqsja imawa kodomoo konde dai-
しら、 むかしば。 いまは 子供を これで 大

zini site sodateru ziseqcjaredo mukaqsja
事に して 育てる 時節だが むかしば

aNTa kodomoo tada tabesaite honna taisita
あんた、 子供を ただ たべさせて そんな 大した

kjo:ikumo suqcju kotomo nasi (S un) tada
教育も するという ことも なし ただ

sodaqtadae naike konde hondemoe rai:i
育ったので ないですか これで。 それでも 偉い

benkjono dekiru sita: dekitasi dekin monna
勉強の できる 人は できだし、 出来ない ものは

dekinandagajakedo aNTa tokono otocanra
出来なかつたのだが、 あんた ところの お父さんら(は)

monosu9oi sjusai jaqtazo hon toni
ものすごい 秀才だったぞ、 ほんとうに。

S naN ju: torugaine
なにを いっているのですか

D oraqcja sanSu: naraIni iqte do:kjuse naqaja
わたしらは 算数 習いに 行って 同級生 なのだ,
この人のお父さんとわたし, そうしては 算数
naraIni iqtewaan osiete moqtawaine (S hu:N)
習いに 行っては 教えて 貰ったですね。

(5) お祭りのこと

S hositaro ho:zija honDake jaqpaa ano: nin⁹-
そうしたら (寺の)法事は それだけ やはり あの にぎ
wasikaqtakedo macuqrja donna monjaqtaine
やかだったが, 祭りは どんな ものでしたか。
D macurimo jorokondawaine
まつりも うれしかったですね。
S o⁹icino macuri taisita kotoe naijorogaine
荻市の まつり(は) 太した ことがないでしょうね。
D hoja mukasikara ano torijaro ima mitai⁹airo
そうだ むかしから あの 通りだろう, いま みたいのだろう。
S siono macuqrja jaqpa omoqsjoigade nai⁹akai-
子浦の まつりは やはり おもしろいでのないのです
ne o⁹icini kurabere⁹
か 荻市に くらべれば。
D omoqsjoi tete anta sisimaiya oi sakaijaro⁹a-
おもしろい といって あんた 獅子舞いが多い からでしょう。
ine hojaro
そうだろう。
S uN (D uN) waqsja siri cundaqte iqtayaiKedo
うん ワシは 尻(に) つれだって 行ったのだが
o⁹icino macuqrja honna cundaqte
荻市の 祭りは そんな つれだって.....

D aruku hodone oran monno (S ON) aN-na monna
歩く ほどに いない もの。 あんな ものは

kodomo no sisimai dake jaro:o (S ON) hosite
子供の 獅子舞い だけだろう。 そして

na:N honna taisita koto mo nai ya i si ne
なにも そんな 大した ことも ないのだし、 ね。

(S UN) ho jarone
そうだろうね。

S honnara mukasi kara ja qpa ame janou uee ayaq-
それなら むかしから やはり 館屋の 上へ あがつ

to qta monke ano a ree
ていた ものですか、 あの あれが

D mikosusanka (S ON) hon tono muka qsj a ya-a-
み興さんか。 ほんとうの まかしは あが

ranan da redo ande hojane ja qpa a ya ri ka qta ya
らなかつたが、 あれで そうで あがりはじめたのは

dondake hode tacuka siran a ko zu: qto huzino
どれだけ ほど 経つか しら。 あそこ ずっと 富士の

jaman i sitene de N kide (S UN) oka jaman o
山に してね、 電氣で。 岡山の

oto qca nra oqteno toki ja qta wane ano zibun ni
お父さんら(の) おられる ときでしたね。 あの ころに

ano zu: qto tasjokara mieru gani site de N kide
あの ずっと ほか(の部落)から 見えるのに して 電氣で

huzi sanno kono kata ci sitene hutari site
富士山の この 形(を) つくるってね、 二人 で

ke qko se: daini sito qta jaja ima na: N honna
かなり 盛大に していたのだ。 いま なにも そんな

koto s jento
こと しないで。

S oka jaman o ozizi obaba tokon one
岡山の おじいさん、 おばあさん どころのね。

D o b a b a n o o z i z i
おばあさんの おじいさん(オババの主人)。

S o z i z i n e
おじいさんね。

D u N a n o h i t o e g i N k o s i t o q t a q t a z i b u N n i w a k a i
うん、あの 人は 銀行(を) しておられた ころに、 わかい
t o k i n e (S o N) c j a n t o h o n o h u z i s a N k o q s j a -
ときね ちゃんと その 富士山(を) こしら
e t e n e d o n n a k i r e n i s i t e a q t a c j a
えてね、 とても きれいに して あったよ。

S m o t o m o t o h o s i t a r a j a q p a a q k o e a g a r a n a N d a y a n e
元元(は) そうしたら やはり あそこは あがらなかつたのね
s a i s j o e n a o
はじめは あの。

D a g a r a n a N d a y a i h u N a k i b a s a N a q t a q a j a r e d o
あがらなかつたのだ ふん アキバ山(秋葉社は) あつたのだが,
h a z i m e a g a r a n a N d a y a j a c i : s a i k o N a o d o : n o
はじめは あがらなかつたのだ。 小さい こんな お堂の
a k i b a s a n j a q t a y a i i m a a n n a y a n i t a t e t a j a r o
アキバ山だったのだ。 いま あんのに 建てただろう,
c j o q t o o : k i i y a n i (S o N o N) c i N c j a i h o n t o -
すこし 大きいのに。 (はじめは) 小さい ほんと
n i i : a k i b a s a n j a q t a
うに アキバ山だった。

S o b a b a m u k a s i m o k a w a r a t o : c j a N n a N M o a n o
⁽²⁹⁾ オババ むかしも カワラ 父ちゃん (ほかは)なにも (せず) あの
k a n t a n n a s i s i m a i j a q t o q t a D a k e
かんたんか 獅子舞い(を) やっていたのですか。
D s i s i m a i k a (S o N) o N a r e e a r e e t e a r e j a D a i -
獅子舞いか。 うん アレア アレアと(いう) あればよ
n e m i q t o k o n a i j a r o y a i n e
ぬ 見るところ(は) ないでしょ うね

S ena:N zeNzeN mi qtokonaisi: mukasikara aimo
なにも まったく 見るところ(は)ないし、 むかしから すこしも

(32) kawarazu genmaitokaa: anna tada genmaitoka
かわらないで ゲンマイとか あんな ただ ゲンマイとか

(33) sinmaitoka nanka macurino hurikata arujaro-
シンマイとか なにか まつりの 舞いかた(が) あるで

D uN (D uN) mukasikara jaqpa annayaine
むかしから ジャッパ やはり あんのだね。
しょう。

D mukasikara narote kaeru cju: kotomo nasi
むかしから (どこから)習って 帰る どいつも こともなく、

ano mamani site mukasino torini jaqtoruðai
あの ままに して むかしの 通りに やっているのだ。

(S hu:N) uN
うん。

S misedemo jaqpa kitamonke siqbakakane
店でも やはり 来た ものですか。(来たのは)子浦だけかね。

D mise uqrja onmjasanno huci (S dakeke
店 売りは お宮さんの ふち だけですか。

hu:N honna taisita kotomo naicja kokorane
ふうん。 そんな 大した ことも ないよ, このあたり(は)ね。

S uN hositaraa: macurijori sumo: no hoe omoq-
うん, そうしたら まつりより 角力の 方が おも

s jokaqtadade naiðakaine
しろかったので ないですか。

D hoja hoja sumo: e omoqsjoiwaine
そうだ, そうだ。 角力は おもしろいですね。

S ne: (D uN) wasirani sitaqte macurijori
ねえ、 ワシラに しても まつりより

sumo: no hoe omoqsjokaqtasine
角力の 方が おもしろかったしね。

D hojarone hakuino sumoni iqta monja mukasi
そうだろうね。 羽咋の 角力に 行った ものだ, むかし(は)

(S uN) b e N t o m o q t e (S uN) h o s i t e m i n n a
べんとう(を)もって そして みな

a s a n a n k a i m a m i t a i b a q s i e a r u k o q c j a n a s i
朝など いまのように バスが あることは なく、

(S uN) m i n n a a r u i t a m o n j a
みな 歩いた ものだ。

S h o : j a n e j a q p a s i o n o h o : z i j o r i j a q p a h a k u i n o
そうだね やはり 子浦の 法事より やはり 羽昨の
h o : z i e o m o q s j o k a q t a s i n e
法事が おもしろかったしね。

D o m o q s j o k a q t a
おもしろかった。

S c j o q t o m a t a u e j a q t a s i n e
すこし また(羽昨は)上だったしね。

D s o : j a s o : j a h o n d e h o n t o n i m u k a s i t e t e t a i -
そうだ そうだ。それで ほんとうに むかし というと 大
s i t a k t o m o k o n d e n e t a n o s i m i m o n a k a q t a a j a
したこと これでね たのしみも なかったのだ

(S uN) i m a t o s i j o r i m o w a k a i m o N m o r j o k o :
いま 年寄りも 若い ものも 旅行
r j o k o : t e t e h o n t o n i k o n n a t a n o s i m i n a s j a b a -
旅行 といって ほんとうに こんな たのしみな 世の中
n i c j o q k o d e m o o r a n j a d o N n a r a N t o o m o t o r u a j a
に すこしでも(生きて)いなくては どうにもならないと 思っているのだ。

(S uN……) s i n a r e N c i g a i …… m u k a s i k a r a m i r j a
死ねない というのだ むかしから 見ると
k a r a d a a m i n n a r a k u j a s i n e (S uN) m u k a q s j a
体が みな らくだしね むかしさ

m i n n a h a t a r a i t a r e d o i m a h o n t o n i i N r a k u n a
みな 働いたが いま ほんとうに らくな

k o n n a z i s e c u n i n a r i m i s i t e n e (S uN)
こんな 時節に なりましてね

(6) お寺の法事

- I honnara ho:zini honnara ano monoo urini
それなら 法事に、 それなら あの ものを 売りに
- kitanowa karakasatoka sonna donna jona mon
来たのは からかさとか そんな どんな ような もの(を)
- urini kita mondesuka macuri ano sumo: no
売りに 来た ものですか、 まつり あの 角力の
- tokimo
とき(で)も。
- D a: sumo: no tokio cjoqto ande nandesugaine
あ、 角力の とき ちょっと あれで 何ですね、
- jasimitai monmo kitarine he:kara ano cjawa-
ヤシのような ものも 来たりね。 それから あの 茶椀
- Ndesjo omona monja cjawa ntō karakasa he:kā-
売りでしょう、 おもな ものが 茶椀と からかさ、 それか
- ra ano: konde minna ho:janeri
ら あの これで みな そうだね。
- I karacumondesuka
からつものですか。
- D karacumon karacumonno miseya ande iciban
からつもの からつものの 店が あれで いちばん
- kuruyadesu
来るのです。
- S zju:mo nizju:mo kitooqtane hidori toqkja
10も 20も 来ていたね、 ひどい ときは。
- D ian ho:sicju:toon horemojasi icineNzjuno
あ、 そうするというと それもだし、 1年中の
- karacu cju: wakede nakedome man ocjawan
からつ という わけで ないが、 まあ お茶椀
- cju monna wareru monja sakajitete gohanzja-
という ものは 割れる ものだ から といって、 ご飯茶

wankara nanmo kanmo minna kōtēwa (S uN)
椀から なにも かも みな 買っては,

hosite rainen no sumoni naqçjuto mata kima-
そうして 来年の 角力に なるというと また 来ま
sjone: ho:siqto mata ko:yadesucja..... karaka-
しょうね, そうすると また 買うのですよ。 からか

samo stono torija (nanja ciθai) konde ande
さも その 通りだ, (何だ というのだ) これで あれで

kudamonkara okwasi mitai monkara kōdomono
くだものから, お菓子 のような ものから, 子供の

omocja mitai monkara zu:qto naran yadesu
おもちゃ のような ものから ずっと 並ぶのです。

S hanqirejamo kitoqta yade nai yaka ine kawire
端切れ屋も 来ていたので(は) ありませんか, 端切れ

mitai monmo ne
のような ものも ね。

D uN kitoqta nandemo konna iruijarone
うん 来ていた 何でも こんな 衣類だろうね。

S oN oN mukaqsja nanzja ano karakasaja kara-
うん うん むかしは 何だ, あの からかさ屋,
kasato karacumonna jaqpa o:kaqtane
からつものは やはり 多かったね。

D icibaN o:kaqta
いちばん 多かった。

S imananzjara ano:N anoN niNqjotoka omocja
いま なにやら あの, あの 人形とか おもちゃ(が)
takusan aqkedo mukaqsja cjawawuri baqkarija-
たくさん あるが, むかしは 茶椀売り ばかりだ
q tane
ったね。

D cjawawuri baqkari
茶椀売り ばかり。

S horee dokono hitojaqtayaine
それは どこの 人だったですか。

D ano hitora komacuno komacukai aqkoe dokojai
あの 入たら(は) 小松の, 小松かな, あそこは どこだな,
ima cjawan uqtoqtoko
いま 茶碗 売っているところ(は)。

S terai
寺井。

D teraika ande teraino hokara siirete kuru-
寺井か。 あれで 寺井の 方から 仕入れて 来る
yade naika siran
ので ないか しら。

S hu:N aree omoqsjokaqtawane mitorudakade
ふうん あれは おもしろかったです, みているだけで。

D mitoruto omoqsjotene ikurani site sutete
見ていると おもしろくてね。 いくらに して 捨てて
makete jaru makete jaru tete ju:tewa seru-
まげて やる まげて やる と いっては 競る
yaria dona omosirotewa kawantotada sore
のが どんな(に) おもしろくては, 買わないで ただ それ(を)
mitoqtagadesuUaine hun
見ていたのですよね, ふん。

S imademo mukashi mukasinó mamano hitoe kitoo-
いまでも むかし むかしの ままの 人が 来て
qtejane oracino cincjai tokino hitodemo
おられるね, わたしらの 小さい ときの 人など。

D hoja hoja dandaN toqsja iqtaredo (S o N)
そうだ そうだ。 だんだん 年は いったが,
mukasinó hitojawane (S u N) na:N konna
むかしの 人だわね。 なに こんな
anta inakadeq sakaii: anna kore tete ju:te
あなた いたかです から, あんな これ と いって

to qte naNsuruno koto hodo no moNmo nasi
取って どうするの(という) ことほどのももなし。

S uN oba:cjaNraqcja ano ciNcja i tokini jo:
うん、 おばあちゃんらは あの 小さい ときによく
hōnna: hō:z idemo macuri demo iqtoqta jarone
そんな 法事でも まつりでも 行っていただろうね。

(D huN) maN mukaqsja minna kimono kite:
まあ むかしば みな きもの 着て。

D minna kimono kite sodeno kimono naga:i
みな きもの 着て、 その(ついた)きもの 長い
sodeno kimono kite soreDa urestka qta ya
袖の きもの 着て、 それが うれしかった の
desjo
でしょう。

S jaqpa ii kimON kitayake icumojori
やはり よい きもの 着たのですか、 いつもより(も)。

D joi joi anta im: gaqkoe iku kodomo e cjan-
よい よい、 あんた、 いま 学校へ 行く 子供は ちゃん
to naN demo hudaNno mamamitai monjaro (S oN)
と 何でも 平常の ままのような ものだろう。

mukaqsja anta naNja yaine sjo:sj ozijosikito-
むかしば あんた、 何だ よね 証書授与式と

ka tencjo: secutokani naqcju: to minna maN
か 天長節とかに なるというと、 みな まあ

kon na mukasino moncuki hairoo moncuki moq-
こんな むかしの 紋付、 そうだろう、 紋付 持つ

toru hitowa moncuki kiru hucu: no kimono demo
ている 人は 紋付 着る、 普通の 着物でも

taNsuni simo: te aruao honna hudaNno mamani
タンスに しまって あるのを そんな ふだんの ままに

ikucju: kotoe zjeNzjeN nakaqtasakai hosite
行くという ことは まったく なかつたから、 そして

hakama haitejazo
はかま はいてだぞ。

S horee honna ho:zino tokidemone (D a a N)
それは そんな 法事の ときでもね,

ho:zino tokja donna monjaine
法事の ときは どんな ものですか

D ho:zino toqkja sodeno kimono kiru daine
法事の ときは 袖の 着物(を) 着る のです。

S a a N sodeno kimono kiruya
ああ 袖の 着物(を) 着るの(ですか)。

D gaqkono toqkja minna c janto honna nanjacja
学校の ときは みな ちゃんと そんな 何だよ,

sike nno toqkja tansukara daito kimono kite
試験の 時は ダンスから 出して 着物(を) 着て
iku oai (S hu:N) hono ho:zino toqkja kimono
行くのだ。 その 法事の ときは きも

no kiru yada uresika qta yajarcvai ne:
の 着る のが うれしかった のだろうよ ね,

(S u:N) macurito ho:zino
まつりと 法事。

S uN boNodoqrja donna monjataine
うん 盆おどりは どんな ものだったですか。

D boNodori mo mukasikara ano to:ri sje:daina-
盆おどりも むかしから あの 通り 盛大なの

yaja
だ。

S eN ima nanka anmari sabirete mo:torujaro
え いま なにか あまり(に) さびれて しまっているだろう,
boNodori
盆おどり(は)。

D ima konde sabiretorujaro horeya jono na nde-
いま これで さびれているだろう。 それが ほかの なんで

(36) mo miru monkara aru monde bonodorimo mini
も 見る ものが ある ものだから、盆おどりも 見に

iku monna joke oranjaro (S un) sonde
行く ものは あまり いないだろう。それで

sabireru yade naika siraN
さびれる ので ないか しら。

S aree nanya siono miqcaodori kaine (37)
あれは 何だ。 子浦の ミクサおどり ですか。

D mikusaodori tokatetene: jakamasi jutaredo
ミクサおどり とかといってね やかましく いったが

S jaappa undozjoni jaqtoqta gajaro
やはり 運動場に やっていた のだろう。

D siraN mini ikaN monno
知らない 見に 行かない もの(=から)。

S a: so:ka hu:N
あ そうか、 ふうん。

D honton: oraqcja mitai neNpaino hitora odori
ほんとうに わたしら(の) ような 年齢の 人たち(は), おどり

sukina hitoya hontoni miNna mukaqsja odoq-
好きな 人が ほんとうに みな むかしば おどっ

ta monja (S hu:N) oraqcjan o kota: hore
た ものだ。 わたしらの ことは それ(を)

kiraiija monno (S hu:N)
きらいだ もの(=から)。

(7) オラッチャ(わたしら)・ヤーヤ(母)など

S o:ja ojasanno ka:cjan na mada zuqto ueke
オーヤ、 オーヤさんの かあちゃんは (年は)まだ ずっと 上ですか。

D o:jasanno ka:cjan hicizzju:iciija (S hu:N)
オーヤさんの かあちゃん 71だ。

oraqcja r o k u z j u r o k u j a r o shontoni korieciu:
わたしら 66 だろう。ほんとうにこれという

toritomeno nai konnane kokorano nanjasakai
とりとめの ない こんなね こから(あたり)の なんだから、

kotobazukai ja mukasikara miree monosu uoi
ことばづかいは むかしから 見ると ものすごく

ki-re-ni naqtasine kokoro きれいに なったしね ここ(は)。

S u N a N m a r i o k a s i i k o t o b a i w a n e
うん あまり おかしいことは いわないね。

D iwaN
いわない。

I h o n n a r a m u k a q s j a r a N m a r i m u k a s i a n o k a t a n a i -
それなら むかしは、 あまり むかし、あの きたない

j o : n a c ju i m a s u k a h a z u k a s i i j o : n a n k o t o b a n i
ような といいますか、 はずかしいような ことばに

d o n n a j o : n a k o t o e a q t a m o n d e s u k a
どんなような ことが あった ものですか。

D k o t o b a d e s u k a (I e e N) h o d e s u n e c i 9 o c j u
ことばですか。 そうですね 「違う」という

k o t o o m u k a q s j a n o k o t o b a d e n a N m o j a t e t e
ことを むかしは (昔)のことばで ナンモだ といふ

b e q c j a w a n e n a N m o j a n e : (S u N) b e q c j a i 9 a i -
ペッチャです、 ナンモだ ね ペッチャ です

(40) ne tete koiyai n a N m o j a w a n e tete
と こういうのだ、 ナンモです と。

S wasirademo n a N m o j a c j u : n e
ワシラでも ナンモだ というね

D ja q p a / j u : k e
やはり いいですか。

S o b a : c j a N i q p i k i i q p i k i c j u w a N k e
おばあちゃん イッピキ イッピキ といいませんか。

D i q p i k i j u : D a i n e
イッピキ(と) いうのです。

S n a N d e m o i q p i k i j a r o
なに(に)でも イッピキだろう。

D u N h o : s u q c j u : t o k o n o o N j a m a s u r o b e N e i k u
うん そうするというと この 山代(温泉の) あたりへ 行く

c j u : t o w a r a w a r e r u y a j a c j a a n o o N n o t o n o o b a : -
というと 笑われる のだよ。あの 能登の おば

c j a N i q p i k i i q p i k i c j u : t e t e n a N d e m o i q p i k i -
あちゃん イッピキ イッピキ というといって 何でも イッピキ

j a c j u : t e t e w a r a w a r e r u y a j a
だ というといって 笑われる のだ。

S h u : N s a k a n a d a k e n a r a n e h o n d e w a k a r u D a i k e d o
ふうん 魚だけならばね それで 分る のだが

a t o k o d o m o d e m o t o : q t a r i m o n o i q p i k i c j u : -
ほかの 子供でも 通ったり(すると) もの イッピキ といっ

t a r i n e :
たりね。

D i q p i k i i q p i k i j u : t o k o d e s i t a y a i i m a a n t a
イッピキ イッピキ という ところでしたよ。いま あんた

h o N n a k o t o b a k a w a q t e m o n o s u y o i i m a n o w a k a i
そんな ことば 変ってない ものすごい。いまの 若い

h i t o r a h a i k a r a n a y a d e k o t o b a j u : t o r u D a i k e -
人たち(は) ハイカラな で ことば(を) いっている のだ

d o (S h u N) o r a q c j a o r a q c j a t e t e o r a q c j a
が、 オラッチャ オラッチャ といって わたしら(は),

w a t a s i d o m o g a q k o e d e t e w a t a s i w a t a k u s i
ワタシ(というの)など(は)学校へ 出で ワタシ ワタクシ

t e t e a n d e h o N n i n a r o t a y a j a r o y a n e h o N z j a r e d o
と あれで ほんとうに 習った のでしょう。 そうだが

m u k a s i n o k o t o b a n o m a m a n i o r a q c j a t e t e w a t a -
むかしの ことばの ままに オラッチャ と ワタ

si tete ju:te ande kaete ju:jon i naqta ga
シ と いって、あれで 変えて いうように なったのは(は)

a:a kon de na njar o baine ora qcjan o hata cu
あ これで なんでしょう、 わたしらの 20才

zubuNno to qkara watasi ni naqta bakan e:
ころの ときから ワタシに なった のかね。

(S hu:N) joi ucino hitoe watasidemo ju:to-
よい 家の 人は ワタシなど いって

qtazo (S on) kono hueu:nofiqpan kate: to
いたぞ。 この 普通の 一般 家庭 と

s itewa ora qcja ora qcja cju:to qta hojaro
しては オラッチャ オラッチャ といっていた、 そうだろう。

S wasirademo ju:ne (D uN) ora qcjate imademo
ワシラでも いうね。 オラッチャと いまでも

ju:waine
いいますよ。

D huN honzjaredo konna to qsjorjajikura toq-
ふん、 そうだが こんな 年寄りは いくら 年

sjoridemo watasi watasi tete ora qcja hokae
寄りでも ワタシ ワタシ と(いうのは)わたしらは ほかへ

iku cju:to hazukasite honna koto juwarento
行く というと 耻ずかしくて そんな こと(は) いえないと,

mukasino mama ora qcja: cju:te ora oruwaine
むかしの まま(に) オラッチャ といって わたしは 居ります,

uN imanara oto:cjan tar a papatar a mamata rate
うん。 いまなら オトーチャンとか パパとか ママとかと

ju:ti redo hono zibunna i: yade ototo okaka-
いっているが その ころは 良い ので オトト(=父) オカカ(=母)

jaro baine (S uN) neN (S uN) hono zibun
でしょう ね, その ころ。

S ototo okakajane
オトト オカカだね。

- D u n' o t o t o ' o k i a k a - うん オトト オカカ。
- I s o r e e ' s u k o s i p w a r u n a q t o r d o d o d o : j u : t a -
それが すこし わるく なると どう どう といった
d e s u k a - ですか。
- D m u k a s j a - むかしは、
- S t o t o c j u w a n a N d a k a i n e - トト といわなかった ですか。
- D t o t o j a D a i n e - (S ine) - t o : t o ' k a : k a t o : t o ' k a : -
トトだがね。トト カー カー トト カー
- k a c j u : t a - といつた。
- S n e h a n n a ñ a j u : t a n e - ね そんなの(に) といったね。
- D i m a o b : c j a N t o k a n e : N k o t o b a ñ a k a w a q t e -
いま オバーチャンとか ね ことばが 変って
n s i m o t e e : N - しまって。
- S h o j a t o t o k a k a n a n k a h o n n a ñ a k i i t a n e -
そうだ トト カカ ナカ ほんなの(を) 聞いたね。
- D i m a p a : p a t a r a m a : m a t a r a t e j a q t o r e d o o N -
いま パーパとか マーマとかと やっているが
- (42) I j a : j a c j u : ñ a n a q t a k e - ヤヤ というの(が) なかつですか。
- D h a z u k a s i k e r e d o j u : t a w a i n e a n t a m i n n a h j a k u -
はずかしいが いいました あんた みな 一百
s j o n o h i t o r a q c j a j a : j a t o : t o j a w a i n e a n t a
姓の 人らは ヤヤ トトですよ あんた,
m m a i k o t o i w a q s j a r u w a h o n t o n i g o r a h a z u k a s i -
うまい こと(を) いわれるわ, ほんとうに わたし(は)はずかし

te iwarenanda ja:jamo oraqcjano ucuno kotoe
くて、いわれなかつた ヤーヤも、わたしらの 家の ことは

sjo:baija jasakai ja:jamadeo iwanaNDaredo
商店屋 だから ヤーヤまでは いわなかつたが、

hjakusjode naimon minna ja:ja benzjodomo
百姓(=農家)で ないもの(=から) みな ヤーヤ(だ)。便所なども

iwananda kansjo cju:ta monja (S un un)
いわなかつた、 カンショ といった ものだ。

S ne:sanc njaj:nja cju:ne areo aqkona ucidake-
ネーサの ニャーニャ(嫁さん) というね、 あれは あそこの 家だけ

de naiyakaine ju:ya wasira aqkona ucino
(は) ないですか、 (あんなに) いうの(は)わたしら あそこの 家の

ne:san ni ne:sande nai ka:cjan jakedoo:
ネーサン(=嫁さん)に、 ネーサンで なく (もう) カーチャン だが、

D oine minna ju:ta taja mukaqsja henzjaredo
そうです。 みな といった のだ。 むかしは そうだが

ano hitoga ano mamani njaj:nja ja:njani
あの 人が あの ままに ニャーニャ ニャーニャに

naqt oru yai mukaqsja kono musimesan o njaj:-
なっている のだ。 むかしは この むすめさん を ニャー

nja aqkona njaj:nja kokono njaj:nja cju:ta
ニヤ(といった), あそこの ニャーニャ こここの ニャーニャ といった

tai
のだ。

S imademo ju:torune i qkendake
いまでも いっているね 一軒だけ(は)。

D ta:tatoka ne: oraqcjano wakai to qkja man
タータ(=おじょうさん)とかね、わたしらの 若い ときは、 まあ

hono kodomonon zibunna ta:ta cjoqko nensja
その こどもの ころは タータ(といった), すこし 年が

taqtara njaj:nja (S hu:N) anesa hairone
取ると ニャーニャ, アネサ(=嫁さん), そうだろうね,

jomeiri jomeni iq tarii: nandari sitara haja
嫁入り, 嫁に 行ったり など すると もう

anesan jac ja imanara ne:santoka ju:toredo
アネサンだよ, いまなら ネーサンとか いっているが

anesan ja
アネサンだ。

I honnara otokono koe do: ju:tatadesuka
それなら 男の 子は どう いった のですか。

D ansama

アンサマ(青年の長男などのこと)。

S tanci cjuwanandakaine e:sano

タンチ(幼童)といわなかつですか, エーサの(タンチのように)。

D kodomo e tanci

子供は タンチ(といった)。

S aree kodomokaine e:sano tanci cju:tarane
あれは 子供ですか, エーサの タンチ といったらね。

D ancjan imani naqtara imademo ancjan ancjan
⁽⁴⁴⁾ アンチャン(という)いまに なると。 いまでも アンチャン アンチャン

ju:tore

といっている。

S mukaqsja honnaga iwanandarone ancjandomo
むかしは そなの(に) いわなかつだらうね, アンチャンなど(と)。

D asukono ancjandomo iwanandaroai (S ne:)
あそここの アンチャンなど いわなかつだらうよ。

tanci ansama ne:
タンチ(で大きくなると) アンサマ、ねえ。

I tanci cju:nowa i: i: yadesjo
タンチ というのは よい よいのでしょうか。

D i: yaja i: yaja anta
よいのだ、よいのだ、あんた。

S hojane anmari wasira wakai monde anmari
そうだね。 あまり わたしら 若い もので あまり(よく)

sirankedo e:sano tanqidake siqtoruwa dareno
知らないが、エーサの タンチだけ 知っているわ。 だれの

koto ju:toru yaka sirankedo
こと(を) いっている のか 知らないが。

D e:sano tanqi tanqi cju:tane
エーサの タンチ、タンチ といったね。

S u:N hoqde jokaqta yairo
うん それで(呼び方は)良かった のだろう。

D jokaqta ya jazo mukasi gohukuja siteen
良かった のだぞ。 むかし 吳服屋(を) して

(S hu:N) oqte honde jokaqta yai (S hu:N)
いた、それで 良かった のだ。

(8) 通学の服装など

D honzjaredo ima kondene hontoni kawaqta-
そうだが いま これでね ほんとうに 変りました

wane hukusoto iee: jo:i kotobato iee:
ね、 服装と いえば よい(し), ことばと いえ

namokamo kawarimasita yai e: konna mukaq-
何もかも 変りました よ ええ こんな むか

sja gaqkoidomo iku toqkja konna tezimano
しは 学校へなど 行く ときは、 こんな 手縫の

kimon simanone: (S un) e: ucino kodomowa
きもの、 縫のね よい 家の 子供は

kasurino kimon (S un) hucu: no kodomo e
かすりの きもの、 普通の 子供は

minna simano kimon kite ikimisitae e:
みな 縫の きもの 着て 行きましたね え。

(S hu:N) hujudem o naqaucu iq soku nasi
冬でも 長靴 一足 なし,

cubutai 9ani zo:ri haite (S hu:N) hujujazo
つめたい のに ぞうり(を) はいて, 冬だぜ。

(S un) konna aka:i imademo omo:toruga aka:i
こんな 赤い, いまでも 思っているが 赤い

keqto mo:hujatee imanara aka:i keqto da
ケット, 毛布だよ。 いまなら 赤い ケットが

hajaqteneN aka:i keqto kitar iroirona kon-
はやってね, 赤い ケット(を) 着たり, いろいろ こん
na keqto kitar i gozabos+ kabuqte iku kokara
な ケット 着たり, ゴザボーン(を) かむって 行く 子(供)から,
(45)

(S un) honna manto domo mada ora q c jano
そんな マントなど まで(は) わたしらの

i c i ne N ja n i ne N ni naka q tato omowa
1年や 2年(の時)に なかったと 思うわ。

S hu:N ... naN haitoqtaine iku toki
ふうん, なに(を)はいて行きましたか。(学校へ)行くときは。

D eqkja huqsu anta imajori madamada ora juq-
雪が 降るし, あんた いまより まだまだ わたし(は)雪

kja aqtato omogane (S hu:N) huqtemo tai-
が (多く)あったと 思うがね。 (雪が)降っても 大した

suta sukasana nanda 9adenaike imanara a:sitewa
(努力もせず)除雪しなかった のでないですか。 いまなら あ(のように)しては

sukasuni kurede (S hu:N)
すかしに 来るが

S zo:ri ke
(はきものは)ぞうりですか。

D zo:ri haitoru gai
ぞうり(を) はいている のだ。

S jukja huqtoru 9ani
雪が 降っている のに。

D tabi haite zo:ri haiteqtawaine
足袋(を) はいて ぞうり(を) はいて行きました。

S a n o j u k i n o z i b u n n i h a k a n a n d a g a g o m u w a r a d e
あの 雪の ころに (か) はかなかつたの(か)。ゴム (否)わらで

c u k u q t a j a c u
作った やつ

D a n n a m o N d o m o n a k a n a k a h a k a n a n d a h a k o i i k u
あんな ものなど なかなか はかなかつた。 羽咋(へ) 行く

k o m o o q t a s i h j a k u s j o n o k o d o m o e a n n a m o N
子も いたし 百姓の 子供は あんな もの(を)

c u k u q t e m o q t e h a i t e
作って 貰って はいて(いたが).....

S a ; n a n c j u d a i n e
あれば 何というの(だ)ね。

D a r e e h u k a d u c u
あれば フカグツ。

S h u : N a n o w a r a d e c u k u q t a j a c u
ふうん あの わらで 作った やつ

D h o j a h o j a h u k a d u c u h a i t e (S h u : N) o r a q c j a
そうだ そうだ フカグツ(を) はいて,

t a i d a i z o : r i h a i t e w a n a n k a g a q k o e i q t e
たいてい ぞうり(を) はいては。 何か 学校へ 行って

g o h a n d a c u b e t a i t e t e a t a t a m e q c j u : k o t o m o
ご飯が つめたい といって あたためる という ことも

n a s i h o n n a b e n t o n o o k a z u s i t e m o q t e k u c j u :
なく、 そんな べんとうの お数(を) して(作って)持つて行く という

k o t o m o n a s i h o n t o n i k o n d e n e : s i q s o c j u e e
ことも なく、 ほんとうに これでね 質素 といえば

j o i k a i t a r a n a n d a c j u e e j o i k a a N m i n n a h o n n a
よいか、 いたらなかつた。 といえば よいか、 あ みな そんな

p a j a s a k a i e n . (S u N) b e n t o n o o k a z u n i h o n z j a -
のだから、 べんとうの お数に(は) そうだ

s a k a i m m e : b o q s j a c j a (S h u : N) m m e : b o q s j a
から 梅ぼしだよ。 梅ぼし(を)

kira ina koe cukemo N demo mo qte qta monka
嫌いな 子は つけもの(漬物)でも 持って行った ものか

hon na a nta o kazoi reni o kaz o domo mo qte kita
そんな あんた お数入れに お数 など 持って 来た

kodomo hon na s joga qkono zibunna mina nda zone
子供(は) そんな 小学校の ころは 見なかつたです。

e: N na N mo qte qta monzjara konde jonzju: ne N
え なに(を)持つて行った ものやら、 これで 40年

gozju: ne N no hanaqsj a sakai en hon na bentono
50年の(前の) 話だ から そんな べんとうの

okaz o domo wasure te simotokoto haja (S u: N)
お数など 忘れて しまうよ、 もう(すでに)。

e: hon na monna mazui to omota kotomo nasi
え そんな ものは まずいと 思つた ことも なく、

honde manzoku site ga qkoe iqto qta qadesjo
それで まんぞく して 学校へ 行つていた のでしょう

Yaine
よね。

(9) むかしの進学

S hikawae iqto qta qajaro
樋川(の小学校)へ 行つていた のだろう。

D hikawa ja
樋川だ。

S hikawano sjo: ga qkoe deto qta Yaine
樋川の 小学校へ 出ていた のだね。

D unano hikawano sjo: ga qkoe ta qta tokino
うん あの 樋川の 小学校が 建つた ときの

uresika qta koto kozinno ucini o qta qadesucja
うれしかつた こと。 個人の 家に (それまで)いた のですよ。

S s a i s j o o

はじめ。

D u N o g i n o s i m a n o s i m a d a n i o q t a a i (S hu:N)
うん 荻の島の 島田に いたのだ。

h o s i t e s i m a d a n i n i n e N m o o q t a g a k a n e h o s i t a
そして 島田に 2年も いたのかね。 そうした。

r a a n o i m a n o a n o g a q k o o a d e k i t a r a i m a n o
らあの いまのあの 学校が できたら、 いまの

k o t a : b o r o b o r o j a r e d o u r e s i t e n e : h a i q t a r a
ことは ボロボロだが、 うれしくてね (校内へ)はいたら

d e q t o k o e w a k a r a N t e t e u s a w a i d e a r u i t e o : k i i
出る とこが わからない と 小さわいで あるいて(学校が)大きい

m o N j a s a k a i h o N t o n i i : a n o g a q k o e a n d e m e : z i
ものだから。 ほんとうに よい、あの 学校は。 あれで 明治

j o N z j u : j o N n e N k a t o o m o t o r u g a j a y a (S hu:N)
44年かと 思っている のだが。

t a q t a g a j a n e N (S u:N) h o N t o n i m u k a s i n o
建った のだね。 ほんとうに むかじの

k o t o o k a N g a e t e m i r u c j u : t o i m a m a N a a N n a
ことを 考えて 見る というと、 いま まあ あんな

n a N j a r a k a N j a r a w a k a r a N d e s u w a i n e (S u:N)
何だか カンだか わからない です。

z i N z j o j e N n i j a m e t e k u h i t o j a r a h o N d e h o k a e
尋常4年に 止めて行く 人やら、 それで ほか(の家)へ

k o m o r i n i i q t a g a d e q s o h a t a b a e i k u h i t o j a r a
子守に 行ったのですよ。(幼績の)ハグバヘ 行く 人やら、

m a N z i N z j o r o k u n e N d e o : k a t a h a j a m i n n a j a
まあ 寻常 6年で 多く もう みんな 止

m e t e g i m u k j o : i k u c j u : k o t o m o n a k a q t a r e d o
めて、 義務教育 という ことも なかったが、

a N d e n e : h o s i t e o N n a n o h i t o r a t a i q a i n a N z j a
あれで ね。 そうして 女の 人など(は) たいてい 何だったが

q tare do ora qc ja gaa; ko qde joi ucino hito ña
(進学しなかったが)。わたしらが これで、よい家の人が

kono o ñici cju tokoni o qta qta ñai joni N
この 荻市 というところに おられた のだ、4人、

orato joni Nka hosita ra atono hito raga ga q-
わたしと 4人か そしたら 残りの 人たちが 学

kono sje nsjeno ucino hito jano kaNnuqsaNno
校の 先生の 家の 人だの、 神主さんの

ucino hito jano miNna ko:toe deq cju:ta qta
家の 人だの、 みな 高等(小学)へ 出る といわれた

ñai hosita ra ora omote eN hosita ra oramo
のだ。 そしたら わたし(は)思って ね そしたら わたしも

detaisakai daite kure tete ucino hitoni
(高等へ)出たいから 出して くれ と、 家の 人に

ju:tara a honnara aN hondake detakere e daite
いたら、 それなら それだけ 出たいならば 出して

jaq tete daite morota ña joka qta redooN aru
やる といって 出して 貰った(の)が よかったけれど、 ある

hitoga ju:ta qta horewa wasureN zone a:q
人が いわれた。 それは 忘れません。 ああ

a qkorano kodomo gaaN ko:toe deta tete ju:ta
あそこなんかの 子供が 高等(科)へ 出た と いった。

hairone anta imano daiga qk jori hodoni iwa-
そうだろうね、 あんな いまの 大学より (大学)ほどに いわ

re ta monka ora mada jakamasi i gani ju:ta
れた ものか、 わたし(のこと)まで やかましい(=うるさい)のに いった

ri ade nai kato omo gaja (S hu:N) ano a qkora-
ので ないかと 思うのだ。 あの あそこら

no kodomo gaa ko:toe joi ucuno kodomo mina-
の 子供が 高等へ(行く)。良い 家の 子供を 見習

ro:tee: a qkona kodomo gaa ko:toe deq to i ne
って、 あそこの 子供が 高等へ 出るそうだね

cju: taqta honzjaredo jaqqariiN detari dai-
といわれた。 そうだが やはり (自分も)出たり (親から)出し

te moqta okagenii: jaqqari horee iqsju
て 貰った おかげに(よって), やはり それは 一生

koNde aNta minnato tonarino obabaraqja
これで あんた 皆と(肩が並べられる)。となりの おばあさんなどが

kitewaa: N'ba:cjaN siNbuNna jonde doja hesu-
(家へ)来ては、 おばあちゃん(新聞は) 読んで どうだ、 ヘンナイ

(46) na nakaroyane tete ora asademo siNbuN cira:-
ことが ないだろうがね と, わたし(が)朝など 新聞(を) チラ

qto midasidake mite ho:siq cju:to tonarino
ッと 見出しだけ 見て(いると), そうする というと, となりの

obaba hoja wainete oraqcja naN kaitet aroBa
おばあさんは(は) そう ですよと, わたしら(は) なに 書いて あろうが

(47) ikuрадемо hima aredo bakaraide jomare-
(分らない) いくらでも(読む) ひまは あるが, わからなくて 読めな

Nna tete ju:teni cuite a:a mono cju: monna
いな と いわれる(の)について, ああ もの という ものは

naro; tokijaqpari narotokan kotonja iqsj
習う(べき) とき(に) やはり な習っておかないと ことには 一生

tɔrikaesino cukan monzjato ora omote cuku-
取りかえしの つかない ものだと わたし(は)思って つく

zuku man kaNsIN sitewa orimisuwaine e:
づく まあ 感心 しては おりますです。 え

(48) jaqqari aNta hitoe konnagee teqaqmja kitemo
やはり あんた 人が こんなのだ(と) 手紙が 来ても,

koree donna gaine tete icudai to:tewa to:-
これは どんな のですか と 一代(=一生)(人に)たずね たずね

tewa oru mani aNta kakarenedomo jomudakee
では いる 間に あんた, (字は)書けないが 読むだけは

(49) rikucuna jomu mondeqsone hondeen araa:
リクジな(ことで) 読む ものですよ。 それで ああ

hontone mojano okagene jokaqtananto omote
ほんとうに 親の おかげ よかったなど 思って,
ima toqsj a eq taraan kansja site orimasuj a
いま 年が 行ったら 感謝 して おりますよ。
uN hontoninen hondake jakamasi iwarete
うん ほんとうにね それだけ やかましく いわれて
bi N bonaka qta monde gakko e det a yaizone
貧しかった もので、 学校へ 出た のです。
(S bu:N) uN

(10) あいさつ

S (49b) (aisacu ikimasa ka) honnaraaN obaba anoon
(あいさつ(へ) 移りますか) 那なら オババ, あの
asaaa: hitoni dem o:ta tokini aisacu suru-
朝 (ほかの)人などに 会った ときに あいさつ する
jaro (D uN) are donna dan i ju:t oqta dai-
だろう。 あれ(は) どんな のに いっていた です
ne mukasi demo man hucu: no koto bani ju: te
か むかしでも まあ 普通の ことばで いって
mi reba
見れば。

D mukasika
むかしか。

S uN imanara' ohajo: gozaimasu cjujaro (D uN)
うん, いまなら お早う ございます というだろう。
mukaqsj a honna iwana ndajaro gaine donna
むかしは そんな(に) いわなかっただろう がね。 どんな
koto ju: toqta ine asa
こと いっていました, 朝

D o h a j o : g o z a N q s a n e c j u : y a i r o y a n e (S h u : N)
お早う ゴザンスワネ(ございますです)という のだろうがね,

h o j a r o
そうだろう。

S o h a j o : g o z a n s a n e t e e :
お早う ゴザンサネ と(いうのか)。

D u N o h a j o : g o z a N q s a n e t e
うん, お早う ございますと(いう)。

S h u : N h o n n a r a ni q c j u d o j u t o q t a i n e ni q c j u :
ふうん それなら 日中(は) どう いっていましたか, 日中(は)。

D n i q c j u k a (S u N) i : t e N k i j a n e N t e t e i m a
日中か。 よい 天気だね と, いま
t e N k j a j o k e r e e j o i t o k a j o i : a n g o o N i j a n a
天気が よければ よいとか よい, あの 嫌な
a m e j a n e N t e t e k o N n a j o : n a m o N z j a
雨だね と, こんな ような ものだ,

S h u : N n e N c u k e r u n e
ふうん ネン(を)(あとに)つけるね。

D u N j a : n a a m e j a n e N (S u N) j o i t e N k i j a n e N
うん 嫌な 雨だね, よい 天気だね
t e t e k o N n a j o : n a h o j a r o (S u N)
と, こんな ような, そうだろう。

S j o r u e d o N n a y a i n e j u : y a t a d e m o
夜は どんな のですか, 夕方(のこと)でも(よいが)。

D h o j a n e : o s i i m a w a k o N b a n w a o s i m a i s a N j a r o
そうだね, オシ(マイサン), いまは こんばんは オシマイサンだろ
y a i
うよ。

S u N h o r e e j u : y a t a j a r o y a i n e
うん, それは 夕方だろう がね

D u N j u : y a t a d e m o j u : h a N t a b e t e k a r a d e m o o s i m a
うん, 夕方でも 夕飯 たべてからでも, オシマ

i s a N t e t e j u : t e j a m i N n a g a r a o s i m a i s a N c j u :
イサンと(みなさんが)いわれる。(どなたも)みな オシマイサン という。

h o n n a h a i k a r a n a k o t o b a i w a n a n d a ȏ a d e n a i k a -
そんな ハイカラな ことば(を) いわなかつた ので ないか。

n a : h o n z j a r e d o o s i m a i s a N ȏ u r a i j u : t o r u w a i
そうだが オシマイサンくらい(は) いっているよ。

(S ne:) uN

うん。

S i m a d e m o j u : ȏ a d e n a i k a i n e o s i m a i s a N
いまでも いうので ありませんか、 オシマイサン(は)。

D i m a d e m o o s i m a i s a N j u : t o r u (S ne: hu:N)
いまでも オシマイサン(は) いっている。 ね、 ふうん。

k o n b a n w a d o m o n a k a n a k a s a i k i N h a j a q t e k i t a
コンパンワなど、 どうして 最近 はやって 来た

k o t o b a d e (S uN) eN o s i m a i s a N j a r o ȏ a i n e
ことばで、 え オシマイサン でしょう,

(S neN) uN

うん。

S j o m e d o r i n i i q t e n a n k a i w a n k e j o m e d o r i n o
よめ取りに 行って なにか いいませんか。 よめ取りの

k o : z j o k a n a n k a d o n n a ȏ a j u : ȏ a i n e j o m e d o r i -
口上か なにか(は) どんな の(に) いい ますか, よめ取り

n i i q t a r a

に 行ったら。

I a n o : N j o s o n o u c i n o : o j o m e d o r i n o : a n o : o i w a -
あの、 ほかの 家の およめ取りの, あの お祝

i o j u : j o : n a n a n k a s o n o k a t a m i t a i n a m o n n a
いを いうような の(に)か その 型みたい ものは

n a n k a k o n o h e N n i n a i m o N d e s u k a d o n n a j o n a
なにか、 このあたりに ない ものですか どんな ような

k o t o j u : t a m o N d e s u k a
こと(を) いった ものですか。

D ho:jane: oraqcja aNTa honNa toqkja wakaisi-
そうだね わたしら(は) あんた、 そんな ときは 若いし。

(jaro)

S nanka jokogawano ucie naNka mono moqteqta
なにか 横川の 家へ なにか もの(を) 持って行った

pade nai qake nanka jomedorini arujaro
ので ない のですか、 なにか よめ取りに (話すことが) あるだろう
paine jomedoqrja arujaro doqkani hon toki
がね。 よめ取りが あるだろう どこかに その とき
sinamondemo moqte ikujaro paine oiwaino
(祝いの)品物など 持って 行くだろう がね お祝いの。

hon toki nanka ju:jaro paine kotobao
その とき なにか いうだろう がね ことばを。

D honna koto mmaikoto ju: hito credo oraqcja
そんな こと(を) 上手に いう 人(は) あるが、 わたしらは
aNTa honNa tokoe iqta kotoe naimonno
あんた そんな ところへ いった ことが ないもの(=ないから)。

S honzjakedo nanka ju:jaro paine kantaNa
そうだが なにか いうだろう がね、 簡単な

kotobade
ことばで。

D kantaNa kotobadeka (sun) hoja honNa
簡単な ことばですが。 そうだ そんな
kantaNa re:ka na:N kokora konde kaN.....
簡単な 例か。 いや こちら(は) これで 簡(単なとこで),
neNgoroja cju: temo kantaNa kjo e aNTaaN
ていねいだ といつても 簡単な,.... 今日は あんた
omedeto gozaimasu cjute maN konNa jona mon-
お目出とう ございます といって, まあ こんな ような もの
z ja hon tono mukasikara kantaNa yaja
だ。 ほんとうの むかしから 簡単な のだ。

- S hu:N tada omēdetō gozaimasu
ふうん ただ おめでとう ございます(か)。
- D uN kono tabi omēdetō gozaimasu tete konna
うん この たび(は) おめでとう ございます と こんな
jona monzja aine hono maeno kotoba ya oraq-
ような ものだがね。 その 前の ことばが、わたし
cja obabaya oqtaqta monde orano oja ya oqta
らは オババ(ここでは母)がおられた もので、わたしの 親が いた
monde oraqcja zjenzjen sonna tokoe taqci
から、 わたしら 全然 そんな ところへ タッチ
sjenanda monzja
しなかった ものだ。
- S a:N cbabaya baqqai jaqtaqta monde
ああ、 オババ(ここでは母)が世話を(を) やられた もので(=ために)。
- D oN oraqa ucini umareta monnaya desucja
うん、 わたしが 家に 生まれた ものなの ですよ,
hon to ju:tara hositara hono obaba cju:
ほんとう いったら。 そうしたら その、 オババ という
sita: keNsikie aqte orano oja jaredo siNga
人は 見識が あって、 わたしの 親 だが 死ぬが
siNmade zeNbukamoto qtaqta gai. (S hu:N)
死ぬまで 全部 (家の事を) かまっておられた のだ。
- ucino kotowa geta kodomon i geta fqsoku
家の ことは 下駄(を) 子供に, 下駄 一足
ko: - Damade obabano
買う のまで オババの
- S jurusi nake
許し(が) なけ(れば?)
- D jurusiga nyakenee kowan gai. (S hu:N) kowan
許しが なければ 買わない のだ。 買わない
- tete horee naNde ko:ta cjuwa iwanedomo
といつて(も), それは なぜ 買った とは いわないが,

o jano ju: tori si to ree maci gai naito mote
親の 云う通り(に) しておれば 間違い(が) ないと 思って。

(S uN) ho ja roneN (S uN) hon de son na
そうだろうね。それで... そんな(ことは)

ob abano hon na nande kore kosa si ran zja dare-
オババの そんな(ことはオババの)なに(仕事)で これこそは知らないよ。だれ

kani hore cjo qto hitokoto anta ki ite hanasi
かに それ(を) ちょっと 一言 あんた(が)聞いて はなし(を)

suru ko qc ja
する ことだ。

S uN hos i tara aN (D uN) akac jaN umare qr jar o
うん そうしたら(つぎに), あかちゃん(が)生まれるだろう,

d o : sje aka..... nanka akac jaN umar etara nanka
いずれ あか(ちゃん?)。なにか あかちゃん(が)生まれたら, なにか

mata mo qt eq tar o (D uN) ar e@ nanka ju: te
また 持って行つたろう。あれは... なにか いって,

mo qt eq tar o gaine
持って行つたでしょう。

D arie@ hore hore mo ja gaine anta tate kon i N aka-
あれは それ それもだ がぬ あんたとこに あか

cjaN umar eta teteenomedet o gozai masu
ちゃん(が)生まれた ってね。おめでとう ございます。

(S uN) hore e im a nta saiki n no koto baja
それは いま あんた 最近のこと とばです

zone (S uN) mukasi no hon na koto ju:taka-
よ。 むかしの(noは不要) そんな こと いったか

n e : N
ね。

S do N na koto ju:t o qta mo N kane tada bosa:q t o
どんな こと いっていた ものかね ただ ボザーッと(行きますか)。(50)

D ikaN ja qpari hon de medet ake ree medet ai ju:-
(だぞ)行かない。やはり それで, めでなければ めでたい(と) いっ

tee: konnaan ⁽⁵¹⁾ naN sita moN jaredomo oon tete
て、こんな つまらない ものだが と

ju: te moqteku - qairogaine (S uN) hairoo
いって、持つて行く のでしょ。 そうだろう、

(S uN u: N) keqkjoku
つまり(は)。

S so:sikino tokiwa so:sikite hito siNdaqta
葬式の ときは、葬式というは 人の 死なれた

tokijazo
ときだぞ。

D siNdaqta toqkja nihon zjengoku iqsjojaro
死なれた ときは 日本 全国 いっしょ(=同じ)

gaine
でしょう。

S doNnaya sitoqtaine
どんなのに していましたか。

D hairo kono tabiwaaN (S uN) nani tete man
そうだろう。この たびは 何 と(いって)まあ,

dare hajaronen otoqcantoka ozi:cjan tokaaN
だれ、 そうだろうね、 お父さんとか おじいちゃんとか

(S uN) no:naru masite haja (S uN) ikura-
亡くなるまして(=亡くなられて)はや(どうも) どれだ

kosa anoon osabisiji kotoode (S uN) gozai-
け あの お淋しい ことで ござい

masjote maN konna jona monzja oraqcjano
ましょうと、まあ こんな ような ものだ わたしらの

kota:
ことは。

S kimakte mo:toru monno ne:
きまつて しまっている もの ね。

D kimakte mo:toru uN (S hu:N) iroiro osjewa
きまつて しまっている、 うん。 いろいろ お世話

s imas it a red o nancju nasakenai tete kon na
しなさったが、 行どう なさけない と。 こんな

j ona mon desic ja dokomo iq sjo desic ja kon na
ような ものですよ。 どこも おなじ ですよ。 こんな

mon na uN
ものは、 うん。

S kazini naqtara do:sita dai kazini naqtara
火事に なつたら どうした のだ。 火事に なつたら。

I kazimima i desuc ja
火事見舞 ですよ。

D aN kazimima ike
あ 火事見舞ですか。

S a: aNmari nai mon dene: aNna mon na
あ あまり ない ものでね、 あんな ものは。

D nai mon de ora qc ja aNta kazimina i ni domo
ない もので わたしら あんた 火事見舞など、

otokoda qc ja baqka iku mon de ucira (I hu:N)
男たち ばかり 行く から (この)家など(では)。

haironen (S uN) ora kono tos ini naqt red o
そうだろうね わたし(は) この 年に なっているが、

kazimima i ni domo iq ta kota: nai waine (S hun)
火事見舞など 行った ことが ありません,

uN
うん。

S omo jani i N aq taro gaine kazi (D uN uN)
本家に あったでしょう、 火事(が)。

a ntoki ne: san ni o:ta toki owan andakaine
あのとき (本家の) よめさんに 会った とき(どうした)。 会わなかっただですか

uci no hitoni
家の 人に。

D owan and a
会わなかっただ。

S hu:N soja aNmar i nai monne:
ふうん、 そうだ、 (火事は)あまり ない からね。

I nai koqcja sakaine:
ない ことだ からね。

S otokono hitoe me:si moqteka nanka sitee:
男の 人は 名刺 持ってか 何か して,
honde owarija monne:
それで 終りだ もの ね。

D hoja (S hu:N) konde terebidemo mitoq
そうだ。 これで テレビでも 見ている

cju:to sono tokorono nantete kondene: nan-
というと、 その ところの なに (=習慣など)といつて これでね なし

sitara aru mondesuredo kokora nanzjara
た (=變った)の (が)ある ものですが、 このあたり(は) 何だか

sapukena (S huhuN) maN kantaNna dadesjo:-
般風景な まあ 簡単な のでしょう
riaine (S uN) kanta:Nna konna rakuna
ね。 簡単な こんな 楽な
tokonadesite
ところなのでして。

I ano honnara ano: josono misene (D e:)
あの それなら、 あの ほかの 店へね ハイ

ano monoo kaini iku toki kodomon o toki do:
あの ものを 買いに 行く とき、 子供の とき どう
ju:te haiqtekareta desuka
いって はいって行かれた ですか。

D a kodomon o tokinine
あ 子供の ときね。

I tatoeba okasidemo ano okasidemo kaini iku
たとえば お菓子など、 あの お菓子など 買いに 行く
toki
とき。

D kore keNke⁽⁵²⁾ are keNke cju:ta moNzja hazuka-
これ ぐださい, あれ ぐださい といった ものだ。 はずか

sii hanaqsjaredo uN oraqcjano kodomono
しい。 はなしだが うん わたしらの 子供の

zibun
ころ(は)。

S maidosante haiqtekanaandake
マイドサンといって はいって行かなかつですか。

D maidosandomo ju:taga anta oraqcjano kodomo-
マイドサンなんか いたの(は), あんた わたしらの 子供

no zribunnimaidosan domo juwananda kore
の ころに マイドサン など いわなかつ。 これ

kenke are kore hojaroo, (S uN) maNzju
ケンケ, あれ(ケンケ)これ(ケンケ), そうだろう。 まんじゅう

kenketoka are keNke dandanui naqta he:ro
ケンケとか, あれ ケンケ(とか), 次第に(變るよう)なつた。 そうだろう,

ano nan sitara maidosan kore kudai cju:ani
あの ひょっと すると マイドサン(=今日は), これ クダイ(=下さい)というのに

naqtagai mukaqsjakenkejazo
なつたの。 (しかし)むかしは ケンケだぞ。

S kenkedakeke
ケンケだけですか。

D odecuno kenke sju: no keNke cju:ta moNzja
荻市の ケンケ, 子浦の ケンケ といった ものだ。

(S hu:N) uN are keNke ano hojarokwasi
うん あれ ケンケ, あの そうだろう, 菓子(を)

kenketoka kore kenketoka site ju:tā
ケンケ(=ください)とか これ ケンケとか して いた

moNzja
ものだ。

S maidosandomo juwanandake
マイドサンなど いわなかつですか。

- D juwaN juwaN いわない いわない。
いわない、 いわない。
- S wasi rakane ju:taya わたしらかね、 いったが。
わたしたちの家、 いってたが。
- D maidosan ju:toru マイドサン(は) いっている。
マイドサン(は) いっている。
- S aNzjusa edemo haiqteku toki maidosante hai-
アンジュサ(=屋号)でも はいって行く とき、 マイドサンと はい
qte qtee: って行って。 って行って。
- D ju:t a ima anta maidosan jori konniciwaja
いった。 いま あんた、 マイドサン より、 コンニチワだ
がね。 それだけ 変った のだ。 マイドサ
Nmo nAnmo nakaqtawaine kore kenke are kenke
ンも なにも なかったです。 これ ケンケ、 あれ ケンケ(と)
ju:t a yai (S hu:N) uN いってた のだ。
いってた のだ。
- I sono kenke cjunowa te:nena i:kata desjoo
その ケンケ というのは ついでに いいかた でしょう。
- D sju: no kenke oqicuno kenkete man sju:to
子浦の ケンケ、 萩市の ケンケといって、 まあ 子浦と
oqiciya sonna monna hajaqta padenaike ano
萩市が そんな ものが はやった のでないですか あの
jono hore janazeno hoe iku cju:to kusancje-
ような それ(が)。 柳瀬の 方へ 行く というと クサンチエ(=
tar a cju:ta qtawa 下さいませ)とか といっていたわ。
- S nanka honna ju:ne kusancje
なにか そんな(に) いうね。 クサンチエ(と)。
- D uN are kusancje kore kusancje cju:ta qta うん、 あれ クサンチエ、 これ クサンチエ といわれた。

hō:suq c juto kenke c juða c joqto zjohiNras+i
そうする というと、 ケンケ というの(は) すこし 上品らしい

gaine (S hu:N) hōjarone
がね。 そうだろうね。

I kiqto zjohiNna kotoba desjo
きっと 上品な ことば でしょう。

D zjohiNnaga desjogaine (S hu:N) are kenke
上品なの でしょうね。 あれ ケンケ

kore kenke oðicuno kenke sju:nō kenkete
これ ケンケ, 萩市の ケンケ 子浦の ケンケと

miNna ju:tatokoja (S hu:N) hijakusjono
みなが いった ところ(=地域)だ。 百姓の

hō:wa ikeo kusaNcje janazjeja soNna jaqcjae
方は、 いけば クサンチエ(だ)。 柳譜や そんな(百姓の) ヤチ(=谷

kusaNcje cju:ta
内)は クサンチエ といった。

S hu:N kenke cju gaine
ふうん、 ケンケ という のだね。

D uN kenke (S hu:N) daNdaNi naqte aNta
うん ケンケ。 だんだん(あとに)なって あんた

maidosante iqte ima konniciwajaro
マイドサンと いって、 いま コニチワだろう。

S uN wasira maidosan jaqtawa
うん わたしら マイドサン だったよ。

D aNta maidosanka (S uN) imano anta konna
あんた マイドサンか。 いまの、 あんた、 こんな(小さい)

kodomoe konniciwate iku gaine ne; ne:wa
子供が 今日は、 と (はいって)行く がね。 ね、 もともと

aNta ora karausa:Nna konnakeno monde hon-
あんた、 わたし(は)はっきりしない こんな 気の もので、 ほん

toniin nanjazone mukasino neNgorona kotoe
とうに 何ですよ、 むかしの ていねいな ことは

s i r a N d a d e s u c j a z a q k u b a r a n d e o r u t a q c j a s a -
知らない のですよ, ザックバランで いる 性質だ

k a i
から。

I e e h o n d e j o i d a d e s u e :
ええそれで よい のです。ええ。

D k o N d e k i c i N t o s i t a u c u n i i N n a N s u q c j u t o
これで きちんと した 家に 何する(生れたりする)というと
n a N j a r e d o u q c j a n a N z j a r a
何だが、(私の)家は 何だか。

S k i c i N t o s i t a u c i n i h o : g e N t e : m o N n a n a i w a i -
きちんと した 家に 方言 というものは ないです。

n e

D h o : k a n e
そうかね。

S h o N n a k i t a n a i k o t o b a c j a c u k o : t o r a N j a r o
そんな きたない ことばという(もの)は 使っていないだろう
g a i n e
がね。

D h o j a m o s i r e n n e :
そうかも 知れないね。

S u N a n o n a k a h a q s a N t o k a a :
うんあの 中橋さん(の) ところは。

D s o : d e g o z a n s u t e a j u : t e o r a q c j a t o m o d a c u d o : -
そうで ゴザンスと いって、わたしら(は) 友だちどうし
q s j a z o n a k a h a q s a N n o o k u s a N t o o r a q c j a n o
だぞ、 中橋さんの おくさんと。 わたしらの
k o N n a z a q k u b a r a N n a k o t o b a i w a N z j a
こんな ザックバランな ことば(は) いわれない(=使われない)。

S n a N j a (n a N d e j a ?)
何だ (なぜか?)。

- D ho: suq cju:to sitasimiða nai jo:n a monjane
 そう する というと、 親しみが ない ような ものだね。
- (S uN) tomodacido:si do:kjusjedo:si o:te-
 友だちどうし 同級生どうし 会って
- moON cjoqto aratamaqtoqteja cju:to nanjara
 も すこし あらたまっておられる というと、 何だか
- okasii monja (S uN) uN
 変な ものだ、 うん。
- S cuði nanka sicumonNa nanka naidesuka
 つぎ(に) 何か 質問は、 何か ないですか。
- I e e mo daitai
 ええ もう だいたい(きました)。
- D ara: totowan kotobaqkari aNiaaN ju:teen
 あら ととのわぬ ことばかり あんた いって。
- I ija ija ano sore naN nao kiki takagta gade-
 いや いや あの それ(が) なに なお 聞きたかった ので
- s uwa e:
 す、 ええ。
- D naNm o aNta cumamu tokomo nai hanasi baqkari
 なにも あんた 捕える ところも ない はなしばかり
- desu ñ aine
 ですがね。

(11) 之オジ (飴の名)

- S dojaine ameø: mukasikara cukuqtoru ðake
 どうですか。 飴は むかしから 作っている のですか。
- D a mukasikara
 あ むかしから,
- S oba:cjan no oba:cjan no maeno maeno oba:cjan-
 おばあちゃんの, おばあちゃんの 前の 前の おばあちゃん

mad ee o ba:c ja nkara h azim eta b ake
まで、(いや)おばあちゃんからはじめたのですか。

D na Nmo maeno maeno hitokara (S hu:N) konde
いや 前の 前の 入から。これで

or ade jo ndaime ja ci yai (S hu:N) a sandai-
わたしで 4代目だ というのだ。あ 3代

med e o qc ja to:c ja nde jo ndaime ja ci yai red o
目で、わたしの(家の若い)トーチャン(=息子)で 4代目だ というのだが

(S hu:N) h ore da hair oo han i hiroku ima
⁽⁵³⁾ それが、 そうだろう、 範囲(を) 広く 現在

se zu mukasino mamani man on nano nai sjoku ja
しないで、むかしの ままに、まあ 女の 内職だ

tete lima sitoru mon jasakai na:N nob iN
といって、いま している ものだから さっぱり 延びない。

S a ree na nc juame jain e
あれは 何という 餅ですか。

D uc ino ya sio zi
家の(は) シオジ。

S hu:N mm a iame Jane:
ふうん おいしい 餅だね。

D ame to q te kite a g er ee joka q ta uq kari omota
餡(を) 取って 来て あければ よかった、 うっかり 思った。

mizu ame ima siroi da kir etoru g ai (S hu:N)
水餡(は) いま 白いの(が) きれている のだ。

daiga qkono sje nsje desuka ho: on jacino
大学校の 先生 ですか、 ほう 谷内の

oka be san ne dokono dai yaku e a yete g air a
岡部さんに どこの 大学へ あげて(な) のやら

k onna ameo cu ka imon ni sita qta koto ecar u
こんな 餡を つかいもの(=贈物)に なさった ことが ある。

S mezurasi iwai ne kono amei
珍らしいです、 この 餅(は)。

- D okabesan tete gozonzide naidesuka
岡部さん といって ご存じで ないですか。
- S nanka kono konoheNnoine ano kita: arujarone
なにか この このあたりのね,あの 喜多(というの)があるでしょう。
- (I eN) kawasirino (I eN) ano kitato nan-
川尻の。あの 喜多と なに
- ka narande tomuraka nanka iwaretoqteja
か 並んで 十村か なにか(と) 云われておられる。
- D iwaretoru uci jo:ne dono ho:nokara oideru
いわれている 家(だ)。よくね どの ほうから(?) おいでる
- 54
øaka daiøakuno daiøakuno nan no daiøakuno
のか 大学の 大学、 何の 大学の
- sjeNsjeøatajara jaqpari cjoqto mukasino
先生がたやら、 やはり ちょっと むかしの
- kotoo siraben i oiderurasi iwa nanka sjomocu-
ことを 調べに おいでるらしいわ、 何か 書物
- øa takusaN aru.....
が たくさん ある。
- I aN so: desuka
あ そうですか。
- D mukasino sjurukentokane anna monna' katana ja
むかしの 手裏剣とかね, あんな ものは 刀や,
- anna monna takusaN aru uci degsaine
あんな ものは たくさん ある 家 ですよ。
- I anq oba:cjan me:zi naNneN umare desuka
あの おばあちゃん 明治 何年 生れ ですか。
- D ora me:zi sanzjugonen desu
わたし(は) 明治 35年 です。
- I sanzjugonen desuka (D e:) hojakedo an o
35年 ですか (それは) そうだが あの
- se:wa naN ano amejasa Nde naiøadesjo
姓は なに あの 館屋さんで ないのでしょう。

S do i ci na N desu ne N
ドイチ なのです ね。

I doi do i san ke
ドイ ドイさんですか。

D do i ci
土一。

S do cu cito pa i ci n and esu
ト 土と パ 一なのです。

D ko N na cu cu to o N ko N na ka nt a n na na : ja - ah o de mo
こんな 土と こんな 簡単な 名だ。 ばかでも

kak a re ru
書かれる。

S ame ame cu ku uq to q te ja mon zja saka i hu cu :
餡 餡(を) つくっておられる ものだから, 普通
ame ja ame ja cju : ne
餡屋 餡屋 というね。

I ha ha han do i ci nani nani sa N cju yake
は は は 土一 なに, なに さん というのですか。

D orano nake (S u u N) do i ci to mi cju yade su
わたしの 名ですか。 土一 登美 というのです。
(I a : N)

S ucino ojazirato iqsjeno yaine ga qkomo
家の オヤジ(=父)らと いっしょの のだね, 学校も。

D iqsjo ja ho nde ja qpari iN mukasi huri kae qte eN
いっしょだ。 それで やはり むかし(を) 振りかえって,
da nda n to to qsj a ikuni cu rete eN a : q si awas je-
だんだんと 年が 行くに つて, ああ しあわせ
jan a n to omotewaa N ja mod o kodomo ga oqte eN
だなど 思っては(ね)。 たくさん 子供が いて
tai he nn a baj a redomo oon ja mod o ore eko so ko N-
たいへんな のだが, たくさん おればこそ これ

daken e minnasite daizini site kureruwato
だけに みんなして 大切に して くれるわと

omoteen ora jorokonde oru dad esucja un
思って わたし(は)よろこんで いる のですよ, うん。(しかし)

mada aqkato omote oraren daicja mada an
まだ 安心に 思って 居られない のだよ。 まだ あ

jomesan moro kodomomo oqsi
よめさん(を) 貰う 子供も いるし。

S o baba mo cjoko suree magoe jomesan morozone
オババ もう すこし すれば 祖孫が よめさん(を) 貰うぞね。

D jama magoe jomesan morojori magoe ko:ko
(云いあやまり)孫が よめさん 貰うより, 祖孫が 高校

socujo: sitorusi isoqassii anta aqkato
卒業 しているし いそがしい。 あんた, 安心に

omote jasundemo oraren doqka kanazaono
思って 休んでも いられない。 (あなたは) どこか 金沢の

ositode gozansuke aaN
お人で ございますか, あん。

S sens ee cubataka ine
先生は 津幡ですか。

D o: on hode gozansuke
お お そうで ございますか。

I doici tomisan e: sosite me:zi sanzju:
土一 登美さん, え そうして 明治 30.....

D gonen desu
5年 です。

I sanzju: gonen desune e
35年 ですね, え。

S hirakanano tomike
平仮名の トミですか。

D hirakanani kaitokee jo i gaine honna mon
平仮名に 書いておけば よい がね, そんな もの。

- S k a n z j a , a a r e j a r o b a i n e
 漢字は あ あれだろう がね。.
 (あるだろう?)
- D a r e d o a n n a m u c u k a s i i a n t a n o b o r u c j u : z i t o
 あるが あんな むつかしい あんた 登る という 字と
 u c u k u s i i z i t o d e j o i y a i
 美しい 字とで よい のだ。
- S a a : N n a r u h o d o
 ああ なるほど。
- D h a j a r o . (S u N)
 そうだろう。⁽⁵⁷⁾
- S me : z i s a N z j u j o n e N j a n e
 明治 34年だね。
- D g o n e N
 5年。
- S g o n e N k e
 5年ですか。

(12) イッタツタ・キタツタなど

- S a a n o d a r e j a r a n e : s a N d o k o n o h i t o j a i n e a r e e
 ああの だれやら よめさん どこの 一人だね。 あれは、
- D u c i n o n e : s a N s a q p o r o j a
 家の よめさん(は) サッポロだ。
- S h o q k a i d o b e N d e m o a r u m o N k e
 北海道弁でも ある ものですか。
- D h o q k a i d o b e N n a a r u w a n e : h o q k a i d o t o k o n o
 北海道弁は あるわ ねえ。 北海道と この
- o q i c i n a y a t o m a z i q t o q t e n a N j a r a o k a : s i t e
 荻市の のと まじっていて、 何だか おかしくて
- o k a s i t e
 おかしくて。

S cjoqto okasii tokoe arune
すこし おかしい ところが あるね。

D uN hojarone ano sitoe iqtaawa tete ju:toqtato
うん そうだろうね。あの 人は (他人に)行ったわ と いっていたと
omoe e wa ya a kodomo no ju: koto kitaqtaawa tete
⁽⁵⁸⁾ 思えば、わが 子供の いう こと(を) 来られたわ と
ju: si o:warai suru baizone aree: haqqiri wa-
いうし、大笑い するのですよ。あれは はっきり 分
kara N be nna maz te qte simote uci no kotoba o
らない。弁が まじって しまって、家の(ものに対する) ことばを(→
ujamo: imini naqte sitoo cjoqto misa-
ことばが) うやまう 意味に なって、(ほかの)人を すこし 見さ
yata joni sitarine oqcia kagene o:warai
げた ように したりね。わたしら かげで 大笑い
sit o redo anta imazja sizju: sun da mon noo:
しているが、あんた、いまでは 40 すぎた もの
kotoba ja saka e honna mon heqtoke tete uci ni
ことばだから、そんな もの(は) 放つておけ と、家に(→家
o:warai sitoru yadesu bai kitaqta wane
では) 大笑い している のですよ。 来られたわね
iqtaqta wane te waga ko ju: toru jar o hokano
行かれたわね。と わが 子(のことを) いっている だろう。ほかの
sita: aree kitaqta kita yae tete ju: tewa
人(について)はあれが 来られた、(いや)来た のだ と いっては
oq sakai e:..... obande goza imasute konba nwa
いるから。ええ オバンデ ゴザイマス (=こんばんは)と(いう)。こんばんは
cju ya one obande goza imasute ju: toru yajasi
という のをね、オバンデ ゴザイマスと いっている のだし。
S hosite kitaqta toka honna yani ju: ne (D uN)
そして、来られたとか、そんな のに いうね。

iqtaqta toka kitaqta toka
行かれたとか、 来られたとか(いう)。

D uN ju:waine
うん いいます。

S iqta cjuwan yaine
(わが子に)行ったといいませんね。

D uN iqta qta kita qta waga kodemo sonna yaizo
うん、 行かれた 来られた(と), わが 子でも, そんな のだぞ。
(S uN) ho:jato okasite okasite naran tete
そうだと おかしくて おかしくて ならない といって
minna waro: yai (S uN)
みな 笑う のだ。

S iqta qta wane toka kita qta wane cju:ne (D uN)
行かれたわね とか 来られたわね というね。

I ja: do:mo aribato goza imasita
やあ どうも ありがとう ございました。

注

- (1) [p. 5] anooNはano よりも親しみがあり、やわらかい表現のように思われる。「あのね」と訳してもよいであろう。
- (2) [p. 5] tokini:i:とtokiniの関係も(1)におなじ。以下こうしたものは省略。
- (3) [p. 5] te@aajaをtegada とはいわないが、-jaは-daより親しみのあることは確かである。ただし-jaはあまりていねいとはいえない。
- (4) [p. 5] 語句の長くなるときは、このようにも切る。以下切りかたは必ずしも揃えていない。
- (5) [p. 5] こうしたなくともよいようなものが多い。しかし、訳にあたるものはつけておく。
- (6) [p. 6] -yaiは-yaja(のだ)ともいう。
- (7) [p. 6] keはkaのていねいな形。
- (8) [p. 6] hore@:である。カナならばホレ@ーとでもしたいところ。以下同様。
- (9) [p. 6] (だろうね)と訳したが、(でしょうね)に近い気持の表現。

- (10) [p. 7] he:karaはhorekara（それから）におなじ。
- (11) [p. 8] aNcjaNは長男のこと，ここではおばあさんの孫。
- (12) [p. 9] o toqcaN（お父さん）はおばあさんの夫のこと。
- (13) [p. 9] kitaqta（来られた）はkitaに対する敬語。
- (14) [p. 10] ora Nz jaqta（おられなかつた）はoranaNdaに対する敬語。
- (15) [p. 11] si omaci の町名は志雄，字名は子浦と書く。志雄町の中心が字子浦である。
- (16) [p. 11] 志雄・子浦を〔ʃu:〕という。
- (17) [p. 11] monosuDoiは若年に多い。このおばあさんが使うとは考えなかった。なお，このおばあさんは対話の前半かなりあらたまっている。takusaN（沢山）が後半jamodo（沢山）に変ることからもわかる。
- (18) [p. 11] -yēは-yai←yaja（のだ）よりもていねいな形。-yē（です）と訳しておく。
- (19) [p. 13] hitokazukiになえる荷量（単位）。
- (20) [p. 13] ucira 私の家などでの意味。
- (21) [p. 14] wasi 男子の自称。ただし，加賀や能登。越中では女子がwa:s i。
- (22) [p. 14] na:N なにも・いいえ。
- (23) [p. 14] na:N（なにも），あとのikaN（行かない）にかかる。
- (24) [p. 14] otōma たとえば，音吉などを心安く「オトマ」と呼ぶ。
- (25) [p. 16] kaqta tokō 勝った角力取りの出た部落。
- (26) [p. 17] hoNne それね・あれね・例の
- (27) [p. 19] -yakai（ーのか）は「ーのかよ」とでも訳すべきか。
- (28) [p. 20] ora 自称。口能登や越中の特徴。加賀・越前はura，奥能登はoreである。
- (29) [p. 24] obaba おばあさんを心安く呼んでいる。
- (30) [p. 24] kawara（河原？）人名。
- (31) [p. 24] naNmō ほかは「なにも」せずの意味。
- (31b) [p. 24] arce 獅子舞いのハヤシ。
- (32) [p. 25] geNmāi 玄米。
- (33) [p. 25] siNmāi 新米。
- (34) [p. 26] ho:zi 真宗寺の報恩講のこと。寺の前に店が並ぶ。
- (35) [p. 26] naqimisu（なります）。ていねいな云いかた。金沢が中心である。
- (35 b) [p. 28] ()内は話し手Sのジェスチャに対するおばあさんの発言。
- (36) [p. 32] inoNkaraはmonDa:（ものが）であるかも知れない。訳は「ものが」としておく。
- (37) [p. 32] miqcaはmikusaの早口と考える。

- (38) [p. 33] naNmō なにも・いいえ。naNmō jaは「違う」。
- (39) [p. 33] beqcja 別だ・違う・いいえ。能登のペッチャはこの志雄町からである。
- (40) [p. 33] beqcjagaine (39)のbeqcjawaneとおなじく「違います」と訳し得る。
- (41) [p. 33] iqpi ki 人でも物でもiqpi ki。
- (42) [p. 36] ja:ja (母) 母はokaka・ka:ka・ja:jaの順にわるくなる。つまり ja:jaは低い階層の母。
- (43) [p. 37] ne:sa 家のニックネーム。-saはーさん。
- (44) [p. 38] aNcjan (長男)。
- (45) [p. 40] gozabo:si 雨具の一種。ゴザでつくる。ここでの発音はgozabō:s+, ゴザボスのように聞かれる。
- (46) [p. 45] hesuna nakaro (hesinaiことはないだろう)。hesinai 待遠い。たいくつだ。
- (47) [p. 45] bakaraide (わからなくて)はwakaraideが普通。bakaraide ふうは東に接する越中が本場。
- (48) [p. 45] koNnagee (こんなのだ)はkoNnagaajaの変形。
- (49) [p. 45] rikucuna 「都合よい・便利な」。用途の広いrikucuな語である。金沢でも使う。
- (49 b) [p. 46] ()内は話し手Iに対する話し手Sの発言。話し手Dとは関係がない。
- (50) [p. 51] boṣa:qto ボンヤリ何もしないで。
- (51) [p. 52] naN sita (なにしたということもない、まことにつまらない)の意味。あいさつによく使われる。
- (52) [p. 55] keNke—kureNke (くれませんか)
- (53) [p. 60] hairo—hojaro (そうだろう)。念を押すとき、対話でよく使う。
- (54) [p. 61] ho:no kara。dono ho:no (どの方の)をdonō ho:kara (どの方から)にしようとしたためかと思う。
- (55) [p. 62] jamodo (たくさん)。これまでtakusanをっていた。これは後半気楽になった証拠であろうか。
- (56) [p. 63] kanazao (金沢のこと)。郡部でのもっと普通の形はkanezao。
- (57) [p. 64] ha jaro そうだろう。hojaro・hairoが普通。
- (58) [p. 65] kodomon o ju: kotoはkodomono koto ju:gani (子供のこと)をいうのに)のようにしないと意味が通じないかと思う。

非 売 品

1968年10月

国立国語研究所 話しことば研究室 発行

東京都北区稲付西山町